

第八十二回帝國議會 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲
衆議院 公債發行ニ關スル法律案外九件

委員會會議錄(速記)第十四回

昭和十八年二月二十二日(月曜日)午後一時
二十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 矢野庄太郎君
理事南 鐵太郎君 理事清 寬君

赤間 德壽君 伊藤 五郎君

長内 健榮君 坂口平兵衛君

鈴木 忠吉君 田部 朋之君

高木 義人君 高梨 乙松君

松田 正一君 森部 隆輔君

小笠原三九郎君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 森山 銳一君
大藏省國民貯蓄局長 氏家 武君

大藏省銀行局長 山際 正道君

大藏省監理局長 相馬 敏夫君

大藏書記官 加藤 八郎君

專賣局長官 木内 四郎君

專賣局理事 濱田 德海君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)

普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信託業務
ノ兼營等ニ關スル法律案(政府提出、貴
族院送付)

銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法律案(政
府提出、貴族院送付)

戰爭死亡傷害保險法案(政府提出、貴族
院送付)

鹽專賣法中改正法律案(政府提出、貴族
院送付)

○矢野委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前
會ニ引續キ臨時資金調整法中改正法律案外
四件ニ付テ質疑ヲ續行致シマス——松田正
一君

○松田(正)委員 此ノ前ノ委員會會戰爭死
亡傷害保險法ノ第三條ノ保險金交付ヲ見合
ハシテ居ルト云フコトデアツタノデアリマ
スガ、其ノ理由ヲ承ルベク質問ヲシテ、同
答ヲマダ十分得テ居リマセヌノデ、モウ一
應承リタイト思ヒマス

○相馬政府委員 前回ニ於テ第三條ヲ只今
ノ所發動スル考ヘガナイト云フコトヲ御答
ヘ致シマシタガ、之ヲ發動スル場合ニドウ
云フコトヲ考ヘルカト申シマスルト、保險

金ヲ全部支拂フ、例ヘバ五千圓ノ保險ガ掛
ツテ居ツタ場合ニハ五千圓ハ全部拂フガ、
併シ其ノ中二千圓ナリ三千圓ト云フモノハ
公債ヲ買ツテ賁ヒタイトカ、一定ノ金融機
關ニ預入レテ賁ヒタイト云フコト、詰リ「保
險金ノ處分ニ關シ必要ナル指示ヲ爲シ」ト云
フコトデ指示ヲスルトカ、或ハ五千圓ノ保
險金ノ中其ノ年ニ二千圓ハ直グ拂フガ、後
ノ三千圓ハ翌年ニ拂フトカ、或ハ年賦デ
拂フトカ云フコトヲ致スコトニナルト思フ
ノデアリマスガ、併シナガラ大體ニ於キマ
シテ此ノ保險ノ保險金額ハ最高五千圓ニ制
限ヲ致シマスシ、又現在ノ生命保險ノ一件
當リノ金額ヲ見マシテモ二千二百圓程度デ
アルノデアリマシテ、此ノ保險ニ於キマシ
テモ其ノ保險金額ハ大シタ金額ニハナラナ
イダラウト思フノデアリマス、隨ヒマシテ
此ノ保險ヲ實施致シマシテモ、第三條ヲ發
動スル必要ハ殆ドナイト思フノデアリマス
カラ、先般申上ゲマシタ通り此ノ保險ニ付
テ第三條ヲ差當リ發動スル積リハナイ、ソ
レカト申シマシテ斯ウ云フ時局デアリマス
カラ、金融政策上ドウ云フ必要ガ生ズルカ

モ分ラナイノデ、此ノ規定ハ此ノ儘殘シテ
置イテ、必要ニ應ジテ善處スル、善處スル
場合ニ於テモ施行規則ヲ作ツテ、ソレニ依
ツテヤツテ行キタイ、ト云フヤウニ考ヘテ
居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 能ク分リマシタ、サウ致
シマスト假ニ發動スル場合ガアツタトシテ、
延期シタト云フ場合ニ其ノ金ハ保險ノ方カ
ラ言ツタラ渡スベキ金、又受取人カラ言ツ
タラ受取ルベキ金デアアル、ソレヲ延バスト
カ停止スルトカ云フヤウナ時ニナツタラ、
其ノ間ニ利息ヲ支拂フト云フコトヲ言ハレ
タ、其ノ利息ハ二分四厘ト承ツタヤウニ思
フノデアリマスガ、實ハ今朝カラ調べマシ
タガ、マダ速記録ガ出來テ居リマセヌ、其
ノ間ニ二分四厘ノ利息ヲ付ケルヤウニ承リ
マシタガ、サウ承ツテ置イテ宜シウゴザイ
マスカ

○相馬政府委員 只今ノ御質問ノ點ニ付キ
マシテハ、前回デハ此ノ戰爭死亡傷害保險
金ノ支拂ヒヲ延期スル場合ニ於テ、其ノ利
息ヲ二分四厘付ケルトハ申サナカツタノデ
アリマシテ、現在物保險トシテ戰爭保險臨

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
臨時資金調整法中改正法律案(政
府提出、貴族院送付)(第七一
號)
普通銀行等ノ貯蓄銀行業務又ハ信
託業務ノ兼營等ニ關スル法律案
(政府提出、貴族院送付)(第七二
號)
銀行等ノ事務ノ簡素化ニ關スル法
律案(政府提出、貴族院送付)(第七
三號)
戰爭死亡傷害保險法案(政府提出、
貴族院送付)(第七四號)
鹽專賣法中改正法律案(政府提出、
貴族院送付)(第七五號)

時措置法ト云フモノガ施行サレテ居ルノデアリマスガ、ソレニハ保險金ノ支拂ヲ延期スル場合ニ二分四厘ノ利息ヲ付ケルト云フコトガ書イテアリマシテ、ソレヲ參考ニシテ此ノ保險金ノ支拂ヲ延期スル場合ニ於テハ決メテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ臨時措置法ノ二分四厘ト云フモノヲ、國債ノ利子其ノ他カラ考ヘテ見マス、少シ低過ギハシナイカト云フコトデ、現在ノ戰爭保險臨時措置法ノ利息ノ利率ノ點ニ付テモ今考ヘテ居ル次第デアリマス

○松田(正)委員 私モ二分四厘デハ可哀ソウダト思フノデアリマス、郵便貯金ニシタ所デ二分七厘、公債ノ利息ニシタ所ガ三分六厘六毛、定期預金ニシタ所ガ、二流銀行デハ三分五厘、一流デハ三分三厘、社債ヲ持ツテモ四分一厘、四分二厘、此ノ位ニ廻ツテ居ルノデアル、況ンヤ五千圓以下ノ保險ヲ掛ケテ、死ンダトカ傷ツイタトカ云フ場合ニハ忽チ生計ノ上ニ支障ヲ來スノデアル、ソレ等カラ見ルト、成ベク五千圓アレバ五千圓貫ツテ方法ヲ講ジテ行クノガ宜イノデハナイカト思ヒマス、ト云ツテ今ノ時節デアリマスカラ、サウ一時ニ金ヲ使フ譯デハアリマセヌデ、此ノ「モラトリ」ヲ命令デ出スト云フコトニ付テハ私ハ異議ガナイ、併シナガラ其ノ金ヲ延期サレテ居ル間、二分四厘ト云フヤウナ標準ヲ置カレルト云フコトハ、洵ニドウモ氣ノ毒ニ思フ、此ノ三條ヲ實施サレレニ當ツテハモウ少シ御考ヘ願ツテ、二分四厘ヨリ高率、少クトモ郵便貯金位、若シハ公債ノ三分五厘——是ガ廻ツテ利息ヲ見レバ三分六厘六毛、是レ位ニ付ケテヤラナケレバ氣ノ毒デハナイカト思ハレルケレドモ、ソレハ今色々考ヘ

テ居ルト云フコトデアリマスカラ、此ノ實施ニ當ツテハ高率ニ考ヘテ貰ヒタイト云フコトダケデ此ノ質問ハ打切ツテ置キマス

○南委員 一寸關聯シテ伺ヒマスガ、此ノ第三條ノ支拂ヒノ時期ヲ延バシタリ、或ハ適當ナ處分方法ニ關シテ必要ナ事項ヲ命ズル、斯ウ云フコトヲセラレタ趣旨デスガ、保險金ヲ受取ル者ガ、折角貫ツタ保險金ヲチャチャラホチャラニシテシマフト云フコトヲ防グ爲ニ、即チ受領者ヲ保護スルト云フ趣旨デ出來テ居ルモノカ、サウデナクシテ、或ハ金融ノ關係デ、同時ニ澤山ノ支拂ヲスルト云フヤウナ場合ヲ豫想シテ、サウ云フ支拂ニ付テハ一部ヲ拂フトカ、或ハ先ニ述バストカ云フヤウナ處置ヲ執ル必要ガアルト云フ、即チ金融ノ方ノ、資金ヲ調整スル上ニ於テ必要ノ爲ニ出來タモノカ、其ノ點ヲ一寸承ツテ置キタイ

○相馬政府委員 第三條ハ政府ハ「國民經濟上必要アリト認メタルトキハ」ト云フノデアリマシテ、勿論金融政策上ノコトモ考ヘテ居リマスガ、保險金受取人ノ保護ト云フコトモ考ヘテ此ノ規定ヲ設ケテ居ル次第デアリマス

○矢野委員長 南君ノ關聯質疑ハ終リマシタ——松田君

○松田(正)委員 此ノ間貯蓄局長ニ御答辯願ツテ居ル所ニ大臣ガ參リマシテ、アレキリニナツテ尻ガ結バツテ居リマセヌノデ、今日ハ尻ヲ結ンデ戴キタイ、此ノ委員會ハ大分議論ノアツタ委員會デスケレドモ、其ノ案件ハモウ濟ミマシテ衆議院ヲ通過サセタノデアリマス、後ニ殘ツテ居リマス五件ハ、何ダカ單純ナ法律案ノ如クニ思ハレマスケレドモ、ソレモ一々考ヘテ見マスレバ、此

ノ戰時下ニ因ンデ重大案件ガヤハリ殘サレテ居ルノデアリマス、吾々ハ其ノ要點ヲ同僚ト相談致シマシテ、單純ナ言葉デアリマスケレドモ、記録ノ上ニ相當參考資料ヲ殘シテ置キタイと思ヒマス、アノ答辯デ命令ノ内容ガ分リマシタ、アノ時ニ私ハ命令ノ内容ヲ受取ツテ居ラナカタノデ、アレヲ見テ大體了解致シマシタガ、

(委員長退席、清委員長代理着席)

斯ウ云フコトニナリマス、外ノ部門デ貯蓄ヲ獎勵スルト云フ方法ハ、今年モ新タニ出來マシタシ、今マデモ色々貯蓄ヲナシタル方法ガアル譯デスガ、政府デハソシナ御考ヘハナイダラウト思ヒマスケレドモ、是アルガ爲ニ之ニ靠タレテ、兎ニ角國民貯蓄デ不足シタラ、銀行ヤ金融機關ニハ是デ命令サヘ出セバ寄ツテ來ルノガ、單純ニサウ之ニ靠レテヤルト云フコトニナツタラ、金融機關ハ機能ヲ失フコトニナル、ソレデ外デ極力ヤツテ、其ノ上デ國民貯蓄ガ少イカラト云フノデ此ノ命令ヲ出サレルト云フノナラ、是ハ斯クノ如キ時局デアルカラ已ムヲ得マセヌガ、ソシナヤウナ譯デアリマスカラ、ソコヲ御考ヘ願ツテ、此ノ命令ヲ發スルコトニハナツテ居ルケレドモ、成ベク金融機關ノ内容ヲ能ク調査シテ、無理カラ命令ヲ出スト云フ風ナコトニ御願ヒヲシテ置カナケレバ、此ノ法律ガ出來タカラト云フノデ之ニ靠レテ行クト云フヤウナコトデハ、金融機關モ相當影響ヲ受ケルノデハナイカト思ヒマス、此ノ質問ニ對シマシテ御意見ヲ承ツテ置キタイ

○氏家政府委員 此ノ間ハ、御話ノヤウニ十分御説明申上ゲナイ内ニ大臣ガ見エマシタノデ、其ノ儘ニナツテ居ツタノデアリマ

スガ、只今ノ御質問ヲ承ツテ居リマス、私共ガ此ノ第十條ノ三デ考ヘテ居リマスコトト、稍違ツテ御考ヘニナツテ居ラレルノデハナイカト云フヤウナ氣ガスルノデアリマス、國民貯蓄ノ額ガ豫定通りニ達シナイ時ニ、何カ金融機關ニ命令ヲシテ、無理ニ貯蓄ヲ作ラセルト云フヤウナコトノ爲ニ本條ヲ利用スルヤウニナリハセヌカ、斯ウ云フ御考ヘノヤウデアリマスケレドモ、實ハ此ノ條文ハ左様ナ條文デハナイノデアリマス、國民貯蓄ハ國民ニ貯蓄ヲシテ貰ハナケレバ増加シナイモノデアリマシテ、金融機關ニ命令シテ國民ガ貯蓄ヲシナイノニソコニ貯蓄ヲ作り出スト云フコトハ是ハ出來ナイコトナノデアリマス、私共ノ考ヘテ居リマスコトハ、國民ガ政府ノ國策ニ即應シマシテ、生活ノ切下ガ行ヒ、困苦缺乏ニ堪ヘナガラ收入支出ノ差額ヲ戰時下必要ナ資金トシテ貯蓄スル、斯ウ云フノデアリマスカラ、國民ガ貯蓄ヲシタイト思ツタ時ニハ、成ベク金融機關ノ方デ親切ニ之ヲ取扱ツテヤル、貯蓄ヲスル方ノ側ニ成ベク迷惑ヲ掛ケナイヤウニシテヤリタイ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方カラ來テ居ルノデアリマス、即チ國民ガ貯蓄ヲシヨウト云フ熱誠ガアルノデアリマスカラ、其ノ熱誠ヲ十分ニ達成サセルヤウナ態勢ニ金融機關ヲ幾分デモ持ツテ行キタイ、斯ウ云フ考ヘ方ヲシテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ本條ニ依リマシテ新シイ貯蓄ノ手段ガ執ラレマシタ場合ニ於テハ、何處ノ金融機關ニモ成ベク之ヲ廣ク扱ハセル、或ル地方ノ或ル金融機關ハ扱フケレドモ、外ノ地方ノ他ノ金融機關ガ扱ハナイト云フヤウナコトニナリマス、偶、サウ云フ措置ヲ執ツタ金融機關ノアル附近ノ人

ハ都合が宜シイノデアリマスルケレドモ、
外ノ方ノ人達ガソレト同ジヤウナ貯蓄ガ出
來ナイ、自分ガヤリタイト云フ貯蓄ガ金融
機關ノ方デ扱ツテ呉レナイ爲ニ出來ナイト
云フヤウナコトニナリマシテハ洵ニ氣ノ毒
デアル、例ヘバ國債貯金ト云フヤウナ新シ
イ貯金ノ制度ヲ目下考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、サウ云フ制度モ出來マシタナラバ、
全國何處デモ之ヲ扱フヤウニシテ貰ヒタイ、
唯サウ云フコトニ致シマス、ソレガ金融
機關ノ爲ニ色々ナ經費ナドノ關係上、非常
ニ不利ニナルト云フヤウナ場合モアルノデ
アリマスカラ、此ノ命令ヲシタ場合ニ於テ、
若シ貯蓄取扱機關ノ方デ經費ノ不足ガ感ゼ
ラレルト云フヤウナ場合ニハ、之ニ對シテ
補助金ヲ補償モシテヤルコトガ出來ル、斯
ウ云フヤウナコトデアリマス、尙ホ其ノ外
ニ政府ガ全國的ニ貯蓄獎勵ノ運動ヲ展開ス
ル爲ニ特別ナ計畫ヲヤルトカ、或ハ強調週
間ヲヤルトカ云フヤウナ場合ニハ、金融機
關モソレニ應ジテ其ノ貯蓄獎勵運動ニ乗出
シテ貰フ、其ノ爲ニ又經費ヲ必要トスルト
云フヤウナ場合ニハ、ソレニ對シテ相當ノ
コトガ出來ルト云フヤウナ手段ヲ執リタイ、
又今マデ色々新シイ貯蓄ト云フヤウナモノ
ガ考ヘラレタノデアリマス、金融機關ノ方
デモ色々ト考ヘテ居ルヤウデアリマスルシ、
政府ノ方デモ色々ト考ヘタノデアリマスガ、
何シロ税ノ問題ガアルノデアリマシテ、旨
イ工夫デアツテモ税ノ輕減ト云フヤウナ措
置ガ講ゼラレナイ場合ニハ是ガ實行ガ出來
ナイト云フヤウナ憾ミガアツタノデアリマ
ス、隨ヒマシテ計畫倒レニナツテシマフト
云フヤウナ憾ミガアツタノデアリマスカラ、
今回ハ此ノ十條ノ三ヲ以テ命令ヲシテ扱ハ

セルト云フヤウナ貯蓄ニ付キマシテハ、法
律ノ委任ヲ受ケマシテ勅令ヲ以テ税ノ減免
ノ措置ガ執リ得ルト云フヤウナコトニ致シ
タイト云フ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、隨ヒマシテ御心配ノヤウニ國民ニ獎勵
シタ貯蓄ガ思ヒ通りニ集マツテ來ナイ、其
ノ時ニ無理ニ金融機關ノ方ニ命令ヲシテ、
貯蓄ヲ金融機關ノ所デ扱ヘサセルト云フヤ
ウナコトニ本條ヲ濫用スルヤウナコトハナ
イカト云フ御尋ネデアリマシタケレドモ、
左様ナコトハ全然考ヘテ居ラナイノデアリ
マス

○松田(正)委員 能ク分リマシタ、サウデナ
ケレバナラスト思ヒマスケレドモ、此ノ法律
ヲ單純ニ讀シテ見マス、今申サレタヤウナ
意味ガ織込マレテ居ルカ居ラスカ分ラナイ、
近來動トモスルト法律ノ上カラ見テハ意外
デアツタト云フヤウナ實施ノ仕方ヲシテ居
ルモノモ實ハ外ニアルノデアリマス、念
爲ニ承ツテ置イタノデスガ、サウ云フ風ニ
御考ヘ願ツテ居レバソレデ結構デアリマス
〔清委員長代理退席、委員長着席〕
今社會ノ實際ヲ考ヘテ見マス、料理屋ヲ
賑ハシテ居ル者、又宴席ニ藝者ヲ呼ンダリシ
テ金使ヒガ荒イノハドノ部門ガ荒イト御考
ヘニナツテ居リマスカ、是等ノ部門ニ對シ
テ、サウ云フ無駄ナ所ヘ金ヲ使ハズニ吸收
スル方法ガナイカ、是ハ餘程ノ金額ニナツ
テ居リマス、尤モ全國的ニ斯ウ云フ統計ヲ
取ラウト思ツタラソレハ中々困難デアリマ
スガ、一ニ縣ノ統計ヲ聞イテ見マシタガ、
餘程ノ金額ニナツテ居ル、斯ウ云フモノ
コソ、外ノモノニ先シテサウ云フ金ヲ貯
蓄ニ吸收スルト云フコトガ、國民精神ノ上
カラ言ウテモ望マシイコトダト思ヒマスガ

是等ニ對スル方法ヲ何カ御考ヘニナツテ居
ルヤウナコトガアリマスカドウカ、ソレヲ
伺ヒタイ

○氏家政府委員 料理屋、待合ト云フヤウ
ナ方面ニドウ云フ種類ノ人達ガ頻繁ニ出入
スルカ、金ヲ使ツテ居ルカト云フコトハ、
私共ノ方デ調査シタコトガマダナイノデア
リマス、併シ色々世間デハ噂ヲシテ居ルヤ
ウデアリマス、又私共色々考ヘテ見マシテ
モ、斯ウ云フ方面ハモツト時局下自肅シテ
モ宜イノデヤナイカト云フ風ニ思ツテ居ル
ノデアリマス、一方ニ於テ隨分苦シイ生活
費ヲ貯蓄ニ向ケテ居ル階層ノ人モアルノデ
アリマスカラ、斯ウ云フ料理屋アタリニ行
ツテ使フ金ガアルナラバ、ソレヲ成べく早
ク貯蓄ノ方ニ振向ケサセルト云フコトハ當
然考ヘナケレバナラナイト思フノデアリマ
スガ、申上ゲルマデモナク、今日ノ貯蓄ノ
方策ハ法令ニ依ラナイト云フコト、法令ノ
罰則ヲ以テ強制スルト云フヤウナ方法ヲ執
ラナイノデアリマスカラ、ヤハリ此ノ方面
ニ對シモ愛國心ニ慫ヘルト云フ手段ヲ執ル
ヨリ外ナイト思フノデアリマス、併シ私ハ
別ニ法律ノ力ヲ藉リナケレバ、斯ウ云フ方
面ノ濫費浪費ヲ現在ノ儘ニ放任シテ置ク
ヨリ外仕方ガナイトハ考ヘナイノデアリマ
ス、是ハヤハリ國民運動ヲ次第ニ強化スル
ト云フコトニ依リマシテ、或ル程度マデ斯
ウ云フ方面ニ對シテ使ハレテ居ル金ヲ貯蓄
ニ振向ケルコトハ可能デアルト考ヘテ居リ
マス、只今モ色々調査モシ、計畫モ致シテ
居ルノデアリマスシ、又府縣ノ當局ニ於テ
モアチコチデソレノ地方ノ實情ニ適シタ
計畫ヲ立テ居ルヤウデアリマス、十八年
度ニ於テハ尙ホ一段此ノ方面ニ對スル貯蓄

強化ノコトニ骨ヲ折ツテ見タイト考ヘテ居
ルノデアリマス

○松田(正)委員 ソレハ法律トシテハ、直
接ニ待合料理屋デ遊ンダ者ハ、百圓遊ンダ
ナラバ、之ニ對シテ是ダケノ貯蓄ヲサスト云
フ其ノ法律ハナイ、併シソレハ之ヲ記錄ニ
取ル爲ニ申上ゲルノデスガ、是ハ法律上、
外ノ法律デヤレルノデス、昨年末カラ今年
ノ一月二十日ノ統計ヲ取ラシテ見タノデス
ガ、何々組合、何々統制會、何々組合聯合
會ト云フヤウナ所謂統制ノ爲ニ出來テ居ル
組合、統制會等ノ幹部ト官吏トガ料理屋ニ
入ツテ使フ金ハ或ル地方デハ全體ノ八割二
分マデ占メテ居ル、斯ウ云フ者ノ使フ金ハ
自分ノ懐ロハ痛マヌノデアリマス、組合員
ノ金デアル、是カラ延イテ考ヘテ行キマス
ト、政府ハ組合ノ會計ヲ検査スル權限ヲ持
ツテ居ル、是ハ検査シタカト云ツタ所ガ、
三分ノ一位ハ検査ヲ致シテ居リマス、斯ウ
云フヤウナ話デアル、サウスルト此ノ待合
料理屋デ遊ンダ金ハ何デ拂ツテ居ルカト云
フト、協議費デ拂ツテ居ル、協議ト云フモ
ノハ、待合ヤ料理屋デ何モ協議ヲセヌデモ
組合ノ中デ協議ハ出來ル、協議費ノ性質ヲ
沒却致シタ不當ノ支出デアルトスルナラバ、
是ハ法律上ヤハリ制裁ヲ以テ行ケル規定ガ
アル、アナタハ今法律デ規定ヲシナケレバ
貯蓄出來ナイト云フヤウニナツテ居ツテ、
是等ニ付テハ法律ハナイト云フ、ソレハア
ナタノ言ハレタ直接ナ法律ハマダ出來テハ
居リマセス、出來テ居リマセヌケレドモ、
間接ニ言ツタラ法律ガアルノデアル、政府
ガ十分商工課ヲシテ取調べサセテ、是ハ協
議費トナツテ居ルガ、其ノ協議費ノ内譯ヲ
出セト言ウタナラバ、必ズ料理屋待合ノ受

取書ガ出テ來ル、料理屋待合デ藝者ヲ揚ゲテ何ノ協議ヲシタカ、斯ウ云フ費用ヲ使フト云フコトハ違法デヤナイカ、是ハヤレバ簡單デアル、ソレヲオヤリニナツテ居リマセス、其ノ犯罪ハ一件モアリマセス、斯ウ云フ支出ハ吾々ノヤウナ下層階級ニハ分ルノデ、大藏省ノ方デハ中々斯ウ云フ所マデハ分ラヌドラウト思ヒマセノデ、吾々ノ言葉ヲ一ツ信用シテ戴イテ、此ノ事實ニ對シテモウ少シ調査ト申シマスカ、檢査ト申シマスカ、之ヲ強化シテ戴ケバ、少クトモ止マル、ソレカ、或ハ闇取引デ儲ケタ者カ、眞面目ナ金デ料理屋遊ビシテ居ル者ハ恐ラク餘計ハアリマセス、ソレハ阿呆カ何カデナケレバ、眞面目ニ働イテ儲ケタ金デ、藝者ナドヲ揚ゲテ料理屋待合ヲ賑ハシテ居ル者ハ餘計アリマセス、大抵闇取引デ暴利ヲ貪リ、法網ヲ潜ツテ儲ケタ者トカ、或ハ今申シマスカ如ク何々組合、何々統制會ノ幹部ト官吏ガ協議ノ爲ニ飯ヲ食フ、單ニ飯ヲ食フナラ宜シ、其ノ飯ノ食ヒ方ガ藝者ヲ揚ゲテ飯ヲ食フト云フ食ヒ方ヲヤツテ居ル、是デヤ國民ガ喜ンデ眞面目ニ働イタ金デ貯蓄ヲ進シデ出來マスカ、報國債券トカ色々細カイ債券ヲ割當テテ居ラレマスカ、アレヲ眞面目ニ消化出來マスカ、結局斯ウ云フ部門ヲ先ヅ以テ調査ヲシテ、コンナ者ニハ先ヅ金ヲ使ハサヌヤウニシテ、資金吸收ノ方途ヲ考ヘテ行クト云フコトハ、國民貯蓄ノ獎勵法トシテ先ニ採ラナケレバナラヌモノデハナイカト思ヒマス、是ハ今答辯ヲナサイト言ツテ見タ所ガ取調ベテ居ラヌナラ十分ナ御答辯ハ得ラレマスカ、兎ニ角是ハ御調ベニナレバ能ク分リマス

ソレデ進ンデ御質問申上ガマスカ、今大

藏省ノ方デハ國民所得ヲ昭和十八年度ハ五百億ト見テ居ル、サウシテ國民貯蓄ガ二百七十億デ、其ノ中六十億ガ産業資金ニ向ケラレ、残り二百十億ガ公債消化ト云フヤウナコトニ承ツテ居リマスカ、此ノ五百億ト云フ國民ノ所得デアリマスカ、是モ政府ノ方デハ大體ト言ハレテ居ル、政府ガ大體ト言フノデスカラ、餘程大體ノモノダト心得テ居リマスカ、是ハ捉ヘ所ノナイモノダト思ヒマスカレドモ、斯ウ言ツテ五百億ト申サレタ以上ハ、人的、物的兩方面カラ考ヘテ出サレタ數字ト思フガ、是モ御答辯ナサルトスレバ長イ言葉ガ要リマセウカラ、時間ノ都合上簡單ニ御答ヘ下サツテモ宜シイカラ聽クノデアリマスカ、五百億ダト昨年ヨリ五十億多イヤウニ記憶シテ居リマスカ、其ノ五十億多イノハ何處ヲ踏ンダカト云フコトヲ御伺ヒシタイ

○氏家政府委員 五十億ヲドウヤツテ踏ンダカト云フ御話デアリマスカ、實ハ大體ト申上ガマシテモ、昨年四百五十億カラ本年ハ五十億ダケ多カラウト云フサウ云フ大雜把ナ考ヘ方カラ來テ居ルノデハナイノデアリマス、國民所得ノ計算ノ爲ニハ實ハ相當難カシイ理論モアリ、又實際非常ニ手數ノ掛ルモノデアリマス、其ノ爲ニ特ニ其ノ方ノ専門家ヲ委嘱シマシテ、大藏省ノ方デ計算ヲシテ居ルノデアリマスカ、其ノ結果五百億ト云フ大體ノ數字ガ得ラレタノデアリマシテ、五十億ヲドウヤツテ踏ンダカト云フ御話デアリマスカ、實ハ其ノ五十億ト云フモノハ今申上ガマシタヤウナ次第デアリマスカラ、ヤリ方ヲ一々詳シク御説明シナケレバ出テ來ナイ數字ナノデアリマス、昨年ヨリ一割増位ニ見テ宜イダラウト云フ

ヤウナ、サウ云フ計算ノ方法デハナイノデアリマス、詳シイコトハ私ノ方デモ今此處デ御説明スルダケノ準備モアリマセヌシ、又私ニハ相當分リ兼ねルヤウナ難カシイ理論モアルヤウデアリマスカ、唯大雜把トハ申シナガラ、四十億ダ、五十億ダト云フヤウナ踏ミ方ヲシタノデハナイ、斯ウ云フコトダケ申上ガテ置キタイト思フノデアリマス

○松田(正)委員 國民所得デ昨年モ色々御尋ネシタノデスカ、結局要領ヲ得ヌデ私ハ濟マシタノデアリマス、今年モ段々御伺ヒシテ行クト、昨年ト同ジヤウナ結果ニナルト思ヒマセノデ、是ハ御質問申上ガナイ、昨年ヨリ五十億殖エテ居ルト云フカラ、其ノ殖エタノハドシナ譯デ殖ヤシタカト聽カウト思ツダガ、ソレモ中々複雑ナル調査モヤラレタノデセウシ、一寸短時間ニハ質問應答モ盡キヌト思ヒマスカラ、別ノ機會ニ特ニ局長ニ承ルコトニ致シタイト思ヒマス、併シ是ニハ十八年度ノ豫算ガ關係ヲシテ居リマセヌデセウカ、豫算ノ實行ノ上カラ申シマスカ、ヤハリ日本銀行ノ通貨ノ發行ガ多イコトニナリマス、ソシナヤウナコトハ國民所得ヲ見積ルノニ參考資料ニナツテ居ルノデセウカ、全然豫算上ノ金額ハ關係ヲシテ居ラヌモノデセウカ

○氏家政府委員 十八年度ノ國民所得ヲ見積リマスカ、十八年度ノ政府豫算ト云フモノハ勿論關係シテ居ルノデアリマス、殊ニ國家的ニ必要ナ資金ノ中ノ大部分ト申上ガテモ宜シイ程大キナ部分ヲ占メル政府ノ支出、是ハ國民所得ノ上ニ重大ナ關係ガアルト思フノデアリマス、物資動員計畫モ、資金統制計畫モ、又豫算モ皆サウ云フヤウナ

モノガ織込マレテ、サウシテ出來上ツタ數字デアル、斯様ニ御諒解ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○松田(正)委員 ソレガ餘程難カシイ、物的、人的資源ノ方面カラ考ヘテ豫算ノ實行ニ當ツテドウ云フ風ニ豫算ノ實行ガ出來ルカト云フコトヲ見透シテ付ケルト云フコトガ餘程難カシイノデアリマス、ソレデ私ハ五百億ト云フモノハ、雲ヲ掴ムヤウナモノダト言ハバ言葉ハ汚クナリマスカ、マア、五百億ダト云フ、實際ハドウカト云フト、ドンナモノカ分ラヌ、秋ノ天氣豫報ノ如キモノデ、當ル時モアレバ當ラヌ時モアルシ、マア當ラヌノガ多イノデハナイカト思ヒマス、私モ豫算ニ大關係ヲ持ツテ居ルト思フ、豫算ノ殖エ方カラ言ハバ、サウ云フ風ニ殖エルカモ知レマセヌガ、併シ御承知ノ如ク豫算ハ、アノ公債發行ニシタ所ガ、豫定額カラ年ニ三十億圓モ——昭和十七年度ノ如キハ五十二、三億圓位殘ツテ居ル、公債發行ガアレダケ發行セヌデ置イテアル、此ノ前モヤハリ大臣ニソレヲ承ツダ、年々三十億圓赤字公債ヲ出スト言ツテ置キナガラ、出シテ居ラス、又昨年度ハアレダケノ公債ヲ出スト言ツテ置キナガラ、今五十二億圓殘ツテ居リマス、サウスルト今二月ノ末デスカ三月一杯一箇月デ五十二億圓發行出來マスカ、恐ラク出來マセヌ、サウスルト四十五、六億圓又殘ルデヤナイカ、此ノ間幾ラカ發行致シマシタカラ、アノ中カラ引ケマスカ、サウ云フ風デ殘ツテ行キマス、公債發行ノ殘カラ見テ行キマス、國民所得ニ狂ヒガアルト云フコトヲ御考ヘニナリマセヌデスカ、ソレガ五百億ト踏ンデアルケレドモ、是ダケ政府カラ資金ガ出ララウト思ツテ

居ツタ所ガ、是ダケシカ出ナカツタ、斯ウ云フコトニナルト、所得ノ上ニ狂ヒガ出来ルノデハナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○氏家政府委員 御話ノヤウニ政府ノ資金ガ十分ニ出タ場合ト、出ナイ場合トデハ、國民所得ノ上ニモ差異ガ起ルト思フノデアリマス、ソコデ國民所得ノ計算ノ爲ニハ、專門家ヲ委囑シテ色々ト資料ヲ集メテ、面倒ナ計算ヲシテ、サウシテ出シタモノデアリマスケレドモ、之ヲ發表スル時ニ五百億圓ト云フヤウナコト、而モ大體ノ見當ガ是ダト云フヤウナ留保付キデ發表スルト云フノハ、今松田サンガ御心配ニナツテ居ラレマスヤウニ、色々ナ條件ガアルノデアリマシテ、其ノ條件ヲ假定シテヤツテ行カナケレバナライノデアリマスルカラ、計算ノ方法ハ精密デアリ、又周到ナ用意ヲシテ居ルノデアリマスケレドモ、之ヲ發表スル場合ニハドウシテモ今日ヤツテ居ルヤウナ程度ノモノシカ出来ナイ、斯ウ言フノハソコニアルノデアリマス

○松田(正)委員 ヤハリ豫算ガ大影響ヲ持つト云フコトノ御答辯サヘ得テ置ケバ宜イノデアリマシテ、細カイトハ又時々御伺ヒヲ致シマシテ、自分ノ參考資料ニシタイト思ヒマス、サウ致シマスルト、年々豫算ノ實行ニ當ツテハ、豫定通り實行出来テ居ラス、是ハ物の關係モアリマスカラ已ムヲ得スデアリマセウ、併シ政府ハ成ベク計畫ヲシテ、事實ニ近イモノニシタイト云フノデ、努力願ツテ居ルノハ、是ハ承知致シテ居リマス、所デ此ノ豫算ノ實行ニ當ツテ年々残ツテ居ルカラ、國民所得モヤハリソレニ影響スルト云フ御答辯、是ハモウ當然ダ

ト思ヒマス、私ノ考ヘヲ申上ゲマスカラ、違ツテ居ツタラ御訂正願ヒタイノデスガ、五百億ト見テ、貯蓄二百七十億ヲ引キマス、サウスルト二百三十億所得ガ残ツテ居ルソレニ國稅ト地方稅ト自治體ノ費用ト、ソレカラ凡ユル寄附トカト云フヤウナモノモアリマスルガ、ソレヲ合算シテ行キマスと國民ノ生計費ト云フモノハ、最低ニ見積ツテ幾ラニ踏ンデ居ラレルカト云フコトヲ承リタイ

○氏家政府委員 國民所得ヲ五百億ト見積リマシテ、國民貯蓄ヲ二百七十億トシ、租稅其ノ他ノ公課、之ヲ約百億圓ト云フコトニ見積リマス、國民ガ生活ノ爲ニ消費シ得ル部分ハ百三十億圓ト云フコトニナルノデアリマス、勿論申上ゲルマデモナイコトデアリマスルガ、實際ニ吾々ガ家計費ヲ計算スル場合ニ於キマシテハ、其ノ百三十億圓ノ上ニ、今租稅トシテ見積ツテ居リマスモノノ中間接稅、消費稅、ソレニ準ズルモノ、斯ウ云フヤウナモノハ此ノ百三十億圓ノ上ニ差加ヘテ計算スルコト云フコトニナルノデアリマスカラ、百三十億圓ヲ假ニ一億ノ國民デ使フノダカラ、一億デ割ツタ百三十圓ガ國民ノ生活費ダ、斯ウ云フノハ少シ計算ガ荒ツボ過ギルト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス

○松田(正)委員 私ハ「ノート」ヲ今日ハ持つテ來マセヌデシタノデ、數字ガハツキリ分リマセヌノデスケレドモ、ソレハ事實ニハ符合致シテ居リマセヌ、二百三十億圓ヲ貯蓄ニ引イテ、百億ヲ稅ト看做シタガ、百億デハ稅ハ足リマセヌ、ソレニハ自治體ノ費用或ハ地方稅ガ全部欲ツテ居リマセヌ、地方稅デモ全體ダ三十二億圓ト云フヤウ

ニ私ハ聞イテ居リマス、ソレニ自治體ノ費用ガ入り、區費ガ入ル、ソレカラ村ニ割當テル寄附金ガアル、ソレヲ引キマスとザツト九十八億圓位シカ残りマセヌ、算盤ノ上デハドウモサウ落チル、ソレハ事實ニ副ウテ居ラナイ、理窟ノ上、算盤ノ上デ引イテ行クトサウ云フコトニナツテ行ク、能ク人生僅カ五十年ト言ヒマスケレドモ、二十五年ハ寢テ暮ス、居眠三年、轉寢三年、晝寢七年ヲ引クト十二年シカ生キテ居ル暇ガナイ、ケレドモ實際ノ事情カラ考ヘマス、人間ハ五十年生キテ行クモノトハ言ハレナイ、五十年生キテ居ルモノトスルト、算盤ノ上カラハサウ行ク、アナタノ今ノ御話モ私ノ計算ト三十二億圓バカリハ違ヒマスケレドモ、五百億ト見テ、假ニ國民ノ生計費ガ百億ト致シマス、一人ノ生計費ハ八十六圓強デアリマセウ、假ニ生計費ヲ九十圓カラ百圓ト見テモ、一箇月ニ八圓七八十錢位シカ使ヘヌコトニナル、サウスルト八圓七八十錢トスルト、ザツト一日ノ生計費ガ三十錢ニナリマス、電車ニ往復乗ツタラ十四錢要ル、是デハ實際ニ合ヒマセヌ、併シ算盤デハサウ出テ來ル、併シ事實ニ合ハヌデス、私ハ「ノート」ヲ持つテ居リマセヌノデ、數字ハドウカ分リマセヌガ、ソナハ風ニ考ヘルノデス、之ニ付テハ餘リ深ク御質問申上ゲマセヌガ、私ノ申シマシタコトハ貯蓄局長サニ御參考ニ願ヒタイ、所デ國家ノ財政經濟ノ上カラ一ツ聽イテ置カナケレバナラヌノハ、政府ハ國民所得五百億圓ト睨合ハセテ、資金計畫ヲ立テルノカドウカ、此ノ點ヲハツキリト承ツテ置キタイト思ヒマス

○氏家政府委員 先程松田サンノ御計算デハ、國民ノ消費資金ガ非常ニ低ク出テ來ルヤウデアリマスガ、是ハ色々計算ノ仕様モアルト思ヒマス、私共ノ計算デハ稅ハ大體百億圓——尤モ百億圓ト申シマシテモ四五億圓ハ端數ガ出テ來ルヤウデアリマス、國民所得其ノモノモ、五百億ト言ツテモ五百億丁度ト云フ譯デモナイデアリマセウ、サウ云フ所ハ大雜把ヲ計算デアリマスカラ、各、端數ヲ整理シテ申上ゲテ居ルノデアリマス、私共ノ計算方式ニ依リマスレバ稅トシテ見積ルベキモノ、即チ國稅、專賣益金、印紙收入、地方稅、斯ウ云フモノノ計算ハ、百億圓ト云フコトデ大シタ間違ヒハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、資金計畫ヲ立テルニ當ツテ、此ノ五百億ヲ基礎ニシテ居ルカト云フ御話デゴザイマスガ、此ノ五百億圓ト云フモノガ、資金計畫ヲ立テルニ當ツテノ一ツノ基礎ニナルノデアリマス、是ダケデヤツテ行クノデアリマセヌ、他ニモ色々數字ヲ使ハナケレバナラヌノデアリマスガ、是モ重要ナ一ツノ基礎ニナル、斯様ナコトヲ申上ゲテ置キマス

○松田(正)委員 ソレガ危險ナンデス、五百億ト云フモノヲ資金計畫ノ基礎ニ置カレテヤルト云フコトハ、餘程危險ナヤリ方デヤナイカト思ヒマス、五十億ト云フモノハ當ル時モアレバ當ラス時モアル、政府ハ大體ト言ハレテ居ル、政府ガ大體ト言フハ餘程大體ニ相違ナイ、其ノ餘程ノ大體ヲ基本ニシテ資金計畫ヲ立テタラ餘程危險ニナリハシマセヌカ、是ハモウ少シ質問ノ餘地ガアル所ト思ヒマスケレドモ、併シ今ノ所是位ノ程度デナケレバヤレマス、私モ五十億ト言ツタ所ガ、二億ヤ三億ノ違ヒハアリマス、アナタノ方デ百億圓ノ稅金ト申シマシテモ、是ハ百億圓丁度トハ考ヘテ居リマセヌ、併シ

私ノ計算ヲ見ルト三十二、三億圓バカリ違フ、ケレドモ、是ハサウ云フ風ニナラヌデセウ、五十億圓アルモノトシテ資金計畫ヲ立テ、斯ウナルノハ本筋デアリマスカラ、今ノ答辯ハ間違ッテ居ルトハ思ヒマセヌケレドモ、事實ニナリマス子供ニ刺刀ヲ持タシテ遊バシテ居ルヤウナモノデ、隨分危険ナモノデ、是以外ノコトハ又別ノ機會ニ折ラ見テ承ルコト致シマスガ、資金計畫ヲ立テラレルトスレバ、此ノ五百億ノ所得ト云フモノハ大體ノモノダカラ、大體ノモノデアルト云フコトヲ御注意願ツテ、資金計畫ノ立テ方ニ付テモ餘程考ヘテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、今申上ゲル如ク私ハ五百億ト見テ居ラス、モツト餘計アルモノト見テ居リマス、局長サンノ言ハレル所カラ言ヘバ、三十二、三億圓ハ違ヒマス、是ハ一面ニ立場ガ違ツテ、幾ラカノ計算ノ間違ヒモアラウト思ヒマスガ、實際ハ先程申シマス如ク、吾々ノヤウナ生活ヲシテ居ル者、社會ノ下層階級ヲ歩イテ居ル者ハ事實ガ能ク分ル、ソレデスカラ今マデ申上ゲタコトハ殆ド事實ニ違ヒナイコトダト御承知ヲ願ツテ資金計畫ヲ立テラユウニ十分御注意ヲ願ヒタイト存ジマス、是ハモウ御答辯ハ要リマセヌ

今法制局長官ガオイデニナリマシタカラ、簡單ナ御質問ヲ申上ゲテ質問ヲ打切ルコトニ致シマス、此ノ委員會ハ一名赤字委員會ト申シマスガ、之ニ掛リマシタ法律案ハ十七件バカリアルノデアリマスガ、戦時ニ關係ヲ持ツ法律案ガ大部分デアリマス、ソレデ今殘ツテ居ル案ハ五ツアルノデスケレドモ、其ノ中二ツバカリハヤハリ戦時下資金ノ吸收方法ニ付テノ規定ガ含マレテ居ル、今日マデ出來タ法律、

此ノ八十一議會ニ付議サレテ居リマスル法律ヲ通覽致シマシテ、資金吸收ニ關スル條文ハ各法律ニクツ付イテ居リマス、サウシテ其ノ利率ガ一定デヤナイノト、或ハ金額ガ區々ニナツテ居ル、政府ハ資金計畫ヲ立テルノニ、今質問應答ヲ重ネマシタ國民所得ノ五百億、之ヲ基準ニ置イテ資金計畫ヲ立テルモノトシマスナラバ、寧ロ凡ル法律ニ資金吸收ノ條文ヲバラ／＼トシテ置クヨリカモ、戦時資金何々ト云フ大キナ法律ヲ一ツ作ツテ、其ノ法律ガ凡ル部門ニ影響ヲ及ボス法律ヲ一本ニシテ作ツタラ、是ハハツキリスルノデハナイカト思フ、ト云フノハナゼカト申シマス、何々統制會ト云フモノガアツテ、遊金ノ二割ハ公債ヲ持テトカ、或ハ遊金ノ何割ヲ中央金庫ニ納メヨトカ、其ノ割合モ一定ハ致シテ居ラス、法律ニ依ツテ、利率ハ二分四厘ニ基準ヲ置イテ居ルト云フテ見タリ、或ハ社債ヲ持テバ四分一、二厘ダト云フ風ナモノモアル、長官、能ク御調ベ願ヒタイデスガ、今ノ儘デハバラ／＼ニナツテシマツテ、何處デドウナツテ居ルモノカ、一ツノ法律ヲ調ベテハ分ルケレドモ、方々ニソレガアツテ、政府資金ノ吸收ノ上カラ言フト非常ニ不便ニナツテ居ル、ソレヨリモ今申シマス如ク一ツ大キナ法律ヲ作ツテ、凡ル方面ニ向ツテ資金ノ吸收ノ出來ルト云フヤウナ法律ヲ作ツタラ却テ宜イノデハナイカ、政府ハ證券取引所法案ノ通過ニ當ツテ、戦時經濟體制ヲ案ス如キモノニ對スル罰則ニ關シテハ全部公平ヲ期スル爲ニ、總テノ法律ヲ睨ミ合ハセテ公平ニシタイ、斯ウ云フ御答辯ガアツタノデス、アレハ刑罰デアリマス、事ノ輕重ハ犯シ方ニ依ツテ生ジテ來ルノデア

ル、併シ國家ガ是ダケノ資金ガ要ルノダ、豫算ガ是ダケアルノダ、此ノ實行ニ依ツテ豫算ノ金ガ是ダケ出テ來ルノダ、ソレガ國民ノ懷ロニ入ルノダ、ソレヲ今申シマス如ク國民ハ最低ノ生計費ニ甘ンジテ速カニ資金ヲ提供セヨ、斯ウ云フノハ、是ハ一本デ宜イ譯デア、ソレナラサウ云フ大キナ法律案ヲ今此ノ八十一議會ニ御出シニナツタラドウカ、ソナコトハ出來サウナ答モナイデスケレドモ、將來ソナ風ニ御考ヘニナル餘地ハ全然ナイモノカドウカト云フコトヲ承ツテ置キタイノデアリマス

○森山銳政府委員 今ノ松田サンノ御意見ハ一應御尤モニ拜聽シタノデアリマスガ、私共法制ヲ扱ツテ居ル者トシテ、今言ハレタヤウナコトニ付テ、即チ資金ヲ吸收スルト云フコトニ付テ全部ヲ一括シテ資金吸收ニ關スル法律トシテ處理出來ルカドウカト云フコトニナリマス、是ハ私相當困難ナ問題デアルト思ヒマス、或ハ不可能ト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマス、資金吸收等ニ關シテ或ル程度ノモノハ一括スルコトガ出來ルト思ヒマス、一ツノ現ハレトシテ、今議題トナツテ御審議願ツテ居ル臨時資金調整法トカナントカ云フモノハヤハリサウ云フ目的ノモノデ、各種各様ノ方面ノモノヲ其ノ中ニ一括シテ居ルト思ヒマス、サウ云フモノモアリ得ルト思ヒマスガ、サウ云フ目的ノモノヲ全部一ツニ纏メルト云フコトニナリマス、是ハ難カシイコトデアルト共ニ、却テ結果トシテ宜クナイ場合モ起ルノデナイカト思フノデス、今政府ノ方針ハ、兎ニ角撒布スル所ノ資金ヲ成ベク集メテシマヒタイト云フノデ色々ナ場合ニ資金ガ撒布スルコトヲ防止シ

テ、吸收ノ措置ヲ圖ラウト努力シテ居ルノデス、例ヘバ或ルモノヲ買収シタト云フ場合ニ、其ノ買収金ヲ拂フト、ソレニ付テハ其ノ金ノ使ヒ途ニ付テ政府ハ指示出來ルノダト云フ風ニシテ、都合ニ依レバ公債ヲ買ヘナイドト云フコトガ出來ル、或ハ一部公債ヲ持タスノダトカ、公債ヲ拂フノダトカト云フコトデ、色々ナ場合ニサウ云フコトヲ目途トシテ規定ヲ置イテ居ルノデスガ、ソレヲ一ツニ集メルト云フコトモ或ル努力ニ依ツテ出來ル部分デアリマス、例ヘバ政府カラ拂フ所ノ補償金等ハ一部公債ヲ以テ支拂フコトガ出來ルノダト云フヤウナ法律ハ出來ルト思ヒマスガ、サウ云フモノト其ノ他ノモノトヲ一ツニ集メテ何カ資金吸收法トカ云フモノヲ作ルト云フコトニナルト、是ハ私ハ一寸難カシイト思ヒマス、政府ノ色々ノ施策ノ上ニ資金吸收ト云フヤウナコトヲ目途トシテ措置ヲ實行スルヤウニ、必要ナル法文ハアチラコチラニ出來ルノデスガ、是ハ山ノ上ニ登ルノニ、道ハ色々アルケレドモ、最後ハ同ジ高嶺ノ月ヲ見ルノデ、ヤハリ色々ナ方面ノ行政上ノ必要カラ或ルコトヲヤルト云フコトガ結局資金供給ノ目的ヲ達スルト云フコトニスル必要ハアルト思フノデ、サウ云フ考慮ノ下ニ色々ノ規定ヲ設ケルノハ必要デアリマスガ、サウ云フモノヲ全部一ツニセヨト云フコトハ、是ハ私ノ今ノ考ヘトシテハ、難カシイノデヤナイカト思ヒマス、罰則ノ點ニ付テ仰セガアリマシタガ、是ハ罰則ヲ成ベク統一シヨウト云フコトデ、是ハ御意見トシテ相當傾聴シ且ツ必ズ實行シナケレバナラヌ事項ダト私ハ思ツテ居リマス、偶、今度此ノ機會ニ於テ、罰則ノ統一ニ付テ色々御意見アル所ヲ承ツタ

ノデスガ、私ハ數年前カラヤハリ此ノ行政
罰則ノ統一ト云フコトハ必要ナシ、何カ
政府トシテハ施設ヲシナケレバイカスト云
フノデ、ソレトナク準備ヲシテ居ツタノデ
スガ、中々實行出來ナカッタノデス、今度
議會ノ推進ニ依ツテ是非ヤレト云フ鞭撻ヲ
受ケテ、政府ハ一生懸命ニヤル積リニナツ
テ居リマスガ、是ハ一ツノ法規ノ統一デア
リマスガ、戰時犯罪ヲ一ツノ法規ノ中ニ全
部纏メテシマフカドウカト云フコトニナル
ト、是ハ立法技術トシテハ餘程難カシイモ
ノニナルト思ヒマス、併シ各種ノ法令ニ現
ハレテ居ル罰則ガ餘リ凸凹デヤイカヌカラ、
是ハ一緒ニシタラドウカト云フコトハ大體
御説ノ通りデ、實行シナケレバナラヌト思
ヒマスガ、一本ノ法規ニシナケレバナラヌ
ト云フコトニナルト難カシイノデハナイカ
ト思ヒマス、併シ御意見ノ次第モアリマス
カラ政府トシテモ考ヘ、私等立法ヲ扱ツテ
居ル者ト致シマシテハ考慮ハシテ見マスケ
レドモ、或ハ御期待ニ副フコトガ出來得ヌ
ノデハナイカト思ヒマス、餘リ安引受ケテ
シマス、アトデ困リマスカラ、一應自分
ノ考ヘヲ率直ニ申上ゲテ、唯御注意ハ能ク
承リマシタカラ、出來ルナラバ成ベクサウ
云フヤウニ進ムヤウニシタイト思ヒマス

○松田(正)委員 政府ハ事務ノ簡素化ト云
フコトヲ言ツテ居ラレシ、此ノ委員會ニ
掛ツテ居ルノハ銀行ハ金融機關ノ事務ノ簡
素化デアル、私ハサウ云フ點カラ考ヘタノ
デス、此ノ事務ノ簡素化ニ付テ質問シタガ、
是ハ當ニ金融機關ノミデハナイ、資金ニ對
スル關係デ政府ト同ジ年度ニシナケレバナ
ラヌト云フノハ、他ノ營利會社デモ國策
會社デモ資金ニ關係ヲ持タナイモノハナイ
カラ、ソレモ一緒ニヤツタラドウダラ
ウト云フコトデ質問ヲ致シタノデアリマ
ス、ソレモ理財局長ノ御話デ、出來ヌト云
フ話デハナイケレドモ、サウナツテ行ク
ト、資金ガ配當金ナシカ一遍ニドット出
ル、資金ニ影響スルカラアトデ考ヘルト云
フコトデスガ、今ノ長官ノ御言葉カラ言
ヘバ、假ニ金融機關ニ對スルモノダケナリ
トモ統一ガ出來ヌモノカ、此ノ法案ノ事務
ノ簡素化カラ眺メテ、是ハヤレルガ一方ノ
資金吸收ノ方ハヤレヌノデアルカ、是ハ
纏ツタ一貫シタ政府ノヤリ方ハナイ、併シ
少クトモ金融機關ニ對シテハ一本デヤル法
律ガ出來ルモノト吾々ハ考ヘル、サウスレ
バ資金ニ付テハ金融機關ガ主デカラハ宜
カラウ、併シ其ノ部面ニ付テハ尙ホ考ヘナ
ケレバナラヌ立法技術モアリマセウ、ソレ
ヲ一本ニシテシマフコトハ御説ノ如ク大分
難カシイ問題デヤナイカト思フガ、今茲ニ
出テ居ル法律ノ程度ニ於テ、金融機關ノ資
金吸收ノ方法ニ付テ一本ノ法律ヲ作ルコト
ハ出來ヌカ、私ハ政府ノ此ノ出シテ來タコ
トニ做ツテ御質問ヲシタノデ、ソレハ出來
ルノデハナイカ、ソレニ對スル御意見ハド
ウデアリマスカ

○森山(鏡)政府委員 只今ノ御話ヲ承ツテ
見ルト、私ノ考ヘテ居タコトト松田サシノ
御考ヘニナツテ居ルコトト食違ヒガアルカ
モ分ラヌノデスガ、私ハ斯ウ云フヤウニ承
ツテ居リマシタ、資金吸收ノ目的トシテ居
ルナラバ、ソレヲ一箇ノ法律ノ中ニ全部規
定シテシマヘト云フ趣旨ニ伺ツタノデス、
ソレナラバ成ベク銀行ナラ銀行ニ付テハ何
カ同ジ歩調デ歩メルヤウナ規定内容ニシタ
ラドウカト云フ趣旨ノヤウニ今度ハ伺ツタ
ノデスガ、ソレダト事柄ガ非常ニ違フノデ
ス、例ヘバ今度銀行ノ事業年度ヲ一本ニシ
テ、政府ノ會計年度ト合ハスト云フコトニ
ナツテ居ル、是ハ會計年度ト合ハスコトハ
一ツニナルノデスガ、法規ハ別々デス、唯
改正ノ便宜爲ニ各法律ニ付テ一々何々法中
改正法律案、何々法中改正法律案ト云フノ
案ニシタケレドモ、是ガ施行ニナルト、ソレ
ゾレ皆自分ノ職分ノ各法律ノ所ニ入り込
ンデシマツテ、會計年度ニ合フヤウニ事業年度
ヲ直シテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ法規
トシテハヤハリ別々ニナツテ來ル、法規ノ
内容ガ一ツニナルト云フダケデス、是ハ私
ハ出來ルダケ内容ヲ一ツニシタラ宜シイ、
私モ是ハ承ツテ置イテ、殊ニ金融關係ノコ
トハ大藏省デヤツテ居ラレラカラ、大藏省
ニモ能ク話シテ善處シテ貰ヒマスシ、或ハ
外地ノ部分ニ付テハ、或ル程度政府トシテ
内務省等ニモ話シ、大東亞省ニモ話シ、金
融ニ付テハ或ル限度大藏大臣ハ外地ノ長官
ニ對シテモ監督權ヲ持ツテ居リマスカラ、
内容ヲ一ツニスルト云フナラ出來ルダケ
御考ヘノ趣旨ガ達成スルヤウニ吾々努力シ
タイト思ヒマス、併シ形式的ニ法規ヲ一本
ニセイト云フコトハ、是ハ勞多クシテ功少
シト云フコトニナリハシナイカト思ツタノ
デ、先程私ノ考ヘヲ率直ニ申上ゲタノデス

○松田(正)委員 是ハ質問ノ一ツノ技術
デ、ヤハリアナタ方ガ法律ヲ學ブ時ニ三
論法ヲヤラレタデセウガ、ソレデ私ハ最初
サウ聽イタノデス、ソレガイイカナケレバ
ダケナリトイケルダラウ、ソレハコソデ簡
素化ヲヤツテ居ルカラ否メヌ所デス、今質
問致シマシタコトモ、今ノ答辯デ大體將來
サウ云フ風ニヤレルノデハナイカ、ソレヲ
來年ノ議會ニ必ズ出セト云ツテモ、中々ソ
シナモノハ次年度ニヤレルカドウカ分ラナ
イガ、餘リ法律ヲ手廻リシナイデ、今年モ
八十八件ガ、アトニナツテ昭和十二年法律
第八十四號ノ法律ガ出テ八十九件ニナツ
タ、年々百件近イ法律ガ陳列サレ、ソレ
ナラト云ツテ法制局ノ方デチャント棚ニ載
ツケテ居ツテ、ソレヲ使フカト云ヘバ使ヒ
ハシナイ、今年ハ幾ラカ止メマシタガ、遊
ンデ欠伸ヲシテ居ル法律ガウントアル、ソ
レダカラ事務簡素化カラ言ツタラ法律ノ簡
素化ヲヤツテ、成ベク法律ノ數ヲ少クシテ
效果ノアルヤウニ御考ヘニナラナイト、シ
マヒニ法律デ一パイニナツテシマフ、ドノ
法律モ必ズ適用シテ居ルカト云フト、御承
知ノ如ク青年禁酒法ナント云フノハ、滿二
十歳以下ノ者ハ酒ハ飲メヌト云ツテ居ル
ガ、料理屋ニハ滿二十歳以下ノ女ガ來テ居
リマスガ、ソレニサア飲メ、サア飲メト言
ツテ居ル、煙草ハ滿二十歳以下ノ者ハ喫メ
ヌト云ツテ居ルガ、サウデヤナイ、煙草ヲ
點ケテ吳レト云ツテ點ケテ來ルト、口ニ咥
ヘテ吸付ケテ吳レト子供ニ言ツテ居ル、ソ
シナ使ハヌ法律ガ棚ノ上ニ曝サレテ居ル、
モウ政府ハ法律ヲ作ツテモ、アトノコトニ
付テハ餘リ御考ヘニナラナイヤウナ法律モア
ル、此ノ前モ此ノ委員會ノ劈頭デ恩給局長
ニ御尋ネシタノデスガ、速記ヲ見テ御覽ナ
サイ、法律ヲ作ル時ニ餘程嚴重ニ政府トノ
間ニ質問應答ヲ重ネテヤツテ居リマスケレ
ドモ、アノ成績ガ擧ツテ居リマセヌ、最初
ハ擧ゲテ居リマシタガ、今擧ツテ居ラナイ
ト云フ、是ハ人事行政ガ一區切り濟ンダラ
大體成績ガ擧ラヌヤウナコトガ多クアリマ

ス、是ハ言葉ハ少イケレドモ意味深長デスカラ、是ハ一ツ御考ヘテ願ヒタイ、成ベク其ノ考ヘデ、長官、將來ハ成ベク法律ヲ少クシテ效果の御願ヒ致シテ置キマス、之ニ對スル御答辯ハ別ニ要求致シマセヌ

○森山(鋭)政府委員 松田サンカラ非常ニ御親切ナ御意見ヲ承リマシタガ、是ハ能ク承リマシタカラ善處致シマス、最近法律ガ非常ニ殖エタト云フノハ、私實際立法ニ關係シテ居ル者トシテ斯ウ云フ見方ヲシテ居リマス、支那事變以來、否滿洲事變カラダト思ヒマスガ、政治經濟文化ノ方面ハ昔トハ非常ナ變リ方ナノデス、言換ヘルト、之ヲ新體制ト云フ言葉、言ハバ或ハ新體制ト云フコトニナルデセウガ、所謂古イ秩序ト新シイ秩序トハ非常ニ變ツテ來テ居ルノデス、ソレマデハ宜カウ法律モ非常ニ惡クナル、間ニ合ハヌヤウニナツタト云フモノガ隨分アルノデス、而モ從前豫想シナカツタヤウナ事態ガ出テ來ルノデ、ソレニ即應スル爲ノ法規ガ要ルノデ、所謂戰時立法ト云ヒマスカ臨時立法ト申シマスカ、サウ云フモノガ非常ニ殖エタ、私モ臨時のナ要求ニ應ズル爲ノ法規ヲ一應拾ツテ檢討シタコトモアルノデスガ、大變ナ數ニナリマス、併シ大キナ世ノ中ノ移リ變リニ歩ミテ同ジクシテ行ク爲ニハ是ハ已ムヲ得ナイノデハナイカ、斯ウ思ツテ居リマス、然ラバ今仰シヤルヤウニ、古イ法律デ欠伸シテ居ル法律ガアルガ、之ヲドウスルカ、廢シテ宜イモノハ廢止シナケレバナラスト云フノデ、政府ハ不要法律ノ廢止ト云フ政策ヲ立テテヤリ出シテ見タノデス、所ガ此處デ申上ゲルノハ或ハイケナイカモ知レマセヌガ、各省ニ對シテ、アノ法律ハ欠伸シテ居ルヤウダ

カラ、一ツ廢シタラドウカト云フ相談ヲ掛ケテ見ルト、アレハ自分ノ方トシテハ一ツ近イ將來ニ之ヲ整理シテ統一的法規ニシタイカラ一寸待ツテ呉レ、或ハ又其ノ法律ヲ今廢止サレルト少シ困ルコトガアル、暫ク放ツテ置イテ貰ツテ、何レ又事情モ變ツテ來ルト必要ナコトモアルカラ其ノ儘ニシテ呉レ、色々ナコトデ中々旨ク行カズ、事志ト違フコトガ多イノデスガ、最近立法ノ非常ニ多クナツタコトハ非常時局ノ已ムヲ得ザル當然ノ歸結ト言ツテハ惡イデスガ、已ムヲ得ザル一ツノ現象ダ、斯ウ云フヤウニ御考ヘ願ハナケレバナラスト思ヒマス、併シ少クトモ東條内閣ニナツタカラハ法律ノ數ヲ減ラサウト思ヒマシテ、隨分減ラスコトニ努力シマシテ、此ノ爲ニ實ハ私モ各省カラ憎マレタノデスガ、出來ルダケ少クシヨウト思ツテヤリマシタ、今年ハ初メ八十八件デアツタノガ突如トシテ一件殖エテ八十九件ニナリマシタ、併シ是ハドウシテモ已ムヲ得ザルコトハ御諒承願ヘルコトト思ヒマスガ、私等ノ苦衷ノアル所モ能ク御諒察下サイマシテ、松田サンノ御意見ノアル所ハ能ク拜承シマシタカラ、成ベクサウ云フ御趣旨ニ副ヒタイト思ヒマス、ドウゾ一ツ惡シカラズ御諒承願ヒマス

○松田(正)委員 長官ノ御話モ能ク分リマシタ、分リマシタガ、民間ノ方ノ話モ參考ニシテ置イテ戴キタイ、官報デ公布サハシタラ、惡法又法ナリト云フヤウナ格言ガアツテ、ドンナ法律デモ國民ハ知ツテ居ルト思ツテ居ル、所ガ官報ニ出シタカラト云ツテ、國民ガソナモノヲ皆知ツテ居ル筈ナガイ、ソレヲ官吏ハ、斯ウ云フ法律ガアルデヤナイカト云フ、所ガ國民ハソナナ法

律ガアツタノカト云フヤウナコトデス、裁判所ノ件數ノ半分以上ハソレデス、刑法ニハ、法律上罪トナルコトヲ知ラズシテ犯シタモノヲ不論罪ヲ以テ論ズルト云フコトガアル、所ガ近頃ハ之ヲ少シモ使ツテ居ナイ、一遍官報デ公布シタラ、其ノ法律ヲ知ラナイカラト云ツテ其ノ罪ヲ免レル譯ニ行カスト云フ、成程官吏ハサウデセウ、併シ民間カラ考ヘルト申サウハ行カナイ、ソレデ今御話ノアリマシタヤウニ、此ノ法律ヲ廢メテシマヘト言フ場合ニ、斯ウ云フ場合ニ要ルカモ知レヌト云フコトデ、其ノ法律ヲ其ノ儘ニ存シテ置クト、其ノ武器ヲ一ツ餘計持ツテ居ルト云フコトニナル、而モ其ノ武器

ダケノ性質ニ使ヘバ宜イモノヲ、ソレヲ色色ト廣義ニ解釋シテ使ツテ弊害ノ出テ居ルコトハ長官地方ヘ行ツテ御覽ナサイ、澤山アル、官吏ガ摘用ヲ誤ツテ居ルコトガ澤山アル、本省カラ地方ヘ電話ヲ掛ケテ、サウデナイ、其ノ處置ハ斯ウヤルノダト云フト、又其ノ通りヤツテ、殆ド融通付カヌノデス、困ルノハ國民デスヨ、ソレデスカラ私ハ何モ彼モ法律デヤト言ハヌデ戴キタイ、大東亞戰下ニ於ケル今日ノ社會狀態ヲ考ヘテ見

マス、國民ハ凡ユル方面カラ戰ヒ抜カナケレバナラストノダ、之ニ付テハ犠牲ヲ拂ハナケレバナラスト云フ肚一ツ括ツテ置ケバ、法律ヲサウ作ラヌデモヤレルモノガ多イノデハナイカト思フ、併シ國民ノ中ニハ法律デヤラナケレバナラストモノガアルト云フノデ法律ヲ作ラレルナラ、政府ハ此ノ大東亞戰下ノ時局ヲ國民ニ認識セシムル方法ニ於テ疎カナルモノガアル爲ニ、法律ヲ作ツテ行カナケレバナラスト云フ立論モ出來ルノデアリマス、個々ノ點ハ議論ニナリマスカ

ラ餘リ申シマセヌガ、先ヅ民間ノ事情モ能ク御諒察下サイマシテ、成ベク法律ヲ少クシテ、國民ノ承知ノ出來ルヤウナ所デ效果ノ多イヤウナコトヲ將來御考ヘ下サルヤウニ御願ヒ致シマス

ソレカラ銀行局長ガオイデスカラタツタ一ツ御伺ヒ致シタイ、利率ノ問題デアリマスガ、色々ノ事情ヲ綜合シマシテ一寸記録ヲ取ツテ置キタイノデアリマス、全體ニ利息ノ率ヲ下ゲテ行ク必要ガアルノデハナイカト思ハレルノデアリマスガ、銀行局長ノ方デハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ

○山際政府委員 御承知ノ如クココ數年來金利ハ漸次低下ノ趨勢ヲ示シテ參リマシタ、殊ニ國債ガ三分半利デ借替ヘラレマシテ、一段ト金利ハ低下ヲ見タノデアリマス、其ノ後三分半公債ノ利廻リ金利ノ水準ト致シマシテ、ソレ以上更ニ金利ヲ低下セシメルト云フコトノ方面ヨリモ、現在ヤツテ居リマスルコトハ、之ヲ水準トシテ尙ホ調整ヲ要スル部面ヲ均シテ行ク、所謂平準化ト云フ言葉ヲ使ツテ居リマスガ、其ノ方面ノ作用ヲ極ク最近ニ於テハ專ラヤツテ居ルノデアリマス、金利ヲ引下ゲルコト自體ニ付キマシテハ、是ハ資金ヲ吸收スル部面ト、又運用スル部面ノ兩方ニ互リマシテ、種々考慮ヲ要スル問題ガアルヤウニ思フノデアリマス、先ヅ吸收スル部面ノ方カラ申シマスト、貯蓄増強上色々獎勵ヲヤツテ參リマスル際ニ、俄カナル金利ノ低下ガ非常ニ或ハ貯蓄心ニ影響スルト云フ問題モ生ジマス、又既に發行致シマシタ公社債類ノ時價ノ方面ニモ影響ヲ及ボス關係ガアリマス、殊ニ有價證券ノ利廻リ問題ニ付キマシテハ、現

在ノ方針ト致シマシテハ三分半ノ公債ヲ中
心トシテ、過日モ大藏大臣ガ申シマシタヤ
ウニ、非常ニ多額ノ公債ヲ將來繼續ニ
出シテ行カケレバナラス、是ガ爲ニハ確
定利附ノ債券ノ價格ト云フモノハ寧ロ上リ
モシナイ、下リモシナイ一定ノ價格ニ於
テ其ノ價值ガ保タレテ行クト云フコトガ、
番望マシイコトデハナイカト云フコトガ、
根本トシテ考ヘラレマスノデ、此ノ方面ニ
於テ低金利ヲ誘導シ又ハ促進スルト云フコ
トハ、今直接ハ致シテ居ラスノデアリマス、
今主トシテ預金利率ト公社債利率ノ問題ニ
付テ申上ゲマシタガ、此ノ産業貸出金利ノ
低下ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ貯蓄増強
ノ方面トモ直接ノ關係ヲ持チマセヌノデ、
寧ロ産業ノ發達ヲ助長シ、生産力ノ擴充ヲ
援助スルト云フ見地ニ於キマシテ、極力其
ノ低下ヲ進メテ居ルノデゴザイマス、不動
産金利、工業方面ニ對スル金利、其ノ他ノ
貸出金利ハ事實ノ上ニ於キマシテモ漸次低
下ヲ見ツツアリマス、此ノ方面ニ於キマシ
テモ全體トシテ低下ヲ圖ルト同時ニ、所謂
平準化ヲ圖リマシテ、戰時貸出金利ノ凸凹
ヲ調整スルト云フ方面ニ努力致シテ居ルノ
デアリマス、金利ノ根本ノ水準ヲ動かスコ
トノ善シ惡シノ問題ハ、是ハ現在ノ場合非
常ニ重大ナ問題デアリマスノデ、只今申シ
マシタヤウナ現在ノ水準ヲ原則トシテ維持
スルト云フ根本ノ方針ヲ執リ、總テノ金利
ハ此ノ水準ニ向ツテ平準化ヲ圖ルト云フ方
面ニ於テ努力ヲスル、現在ノ所ハ其ノ程度
ニ考ヘルノガ宜シイデハナイカト思ツテ仕
事ヲ進メテ居ルノデアリマス

○松田(正)委員 ソレデ大體財界モ安心ス
ルドラウト思ヒマス、之ヲ御尋ネスルノニ

モ、唯今申シマス貸出ハ成程大分減ツテ來
マシタケレドモ、預カル方ハ中々減ラナイ、
預カル額ガ多クナツテ來マシタ、相當ノ營
業「コスト」モ現ハレテ來ルト云フノデスケ
レドモ、現在ノ人件費ガ高クナツテ來タト云
フヤウナ聲モアリマス、是ハ御考ヘニナツ
テ居ルト思フノデアリマスガ、私ノ考ヘデ
ハ三分五厘ノ公債ヲ以テ他ト比較シテ、餘
リ公債ノ利息ガ安クナイト云フ所マデ引付
ケテ行クノガ、公債ノ消化ノ上カラ見テ本
當ヂヤナイカ、ソレニ漸次歩ヲ進メテ行ク
ト云フニアラザレバ、ドウシテモ公債ノ消
化ト云フモノガ、或ル點マデハ來マスケレ
ドモ、利息ノアヤデ成績ガ學ラス場合モア
リマスカラ、此ノ邊ニ對スル自分ノ考ヘカ
ラ御質問ヲ致シタノデアリマス、其ノ三分
五厘ヨリ上ノモノハ、成ベク三分五厘ニ近
付ケルト云フ方針ヲ執ツテ居ラレルノデハ
ナイカト思ヒマスガ、皆ガ皆サウデハアリ
マスマイケレドモ、大體大藏省ノ方針トシ
テサウ云フコトニナツテ居ラレルカドウカ、
伺ヒマス

○山際政府委員 只今御尋ネノ如ク、金利
ノ水準ノ中心ヲ三分五厘ノ公債ニ置クト云
フコトハ、現在ヤツテ居ル所デゴザイマス、
其ノ意味ガ各種ノ金利ヲ漸次三分五厘ト云
フコトヲ具體的目安トシテ、鞅押セラヌル
ヤウニ仕向ケルノデハナイカ、斯ウ云フ御
尋ネモアツタヤウニ思フノデアリマスガ、
其ノ點ハ實ハ私共ハ直チニ形ノ上ニ於テ三
分半ニ少シデモ近イノガ宜イト單純ニ考ヘ
テ居ルノデモナイノデアリマス、即チ預金
ノ金利ニ致シマシテモ、常ニ其ノ預金ヲ吸
收致シマス上ニ於テ、預金者ニ相當ノ魅力
ヲ與ヘルト同時ニ、又營業ノ「コスト」ノ方ガ

第六類第二號 昭和十八年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外九件委員會會議錄 第十四回 昭和十八年二月二十二日

ドウ云フ關係ニアルカ、サウ云フ點ヲ複雑
ニ色々ト考ヘ合ハセマシテ、サウシテ其ノ
當時ニ於テ一番資金ノ吸收ノ能率ノ良イト
云フ所ニ目安ヲ置イテ考ヘテ行ク譯デアリ
マス、又運用ノ方面ニ致シマシテモ、金融
機關ノ資金ノ運用ガ、是カラ益、三分半ノ公債
ヲ多額ニ引受ケテ消化シナケレバナラスト
云フ情勢ニ鑑ミマシテ、三分半公債ヲ十分
消化シテモ、尙ホ金融機關ガ健全ニ立行ク
ヤウナ營業「コスト」ト申シマスカ、經營ノ合
理化ヲ圖ルト申シマスカ、内容ノ改善ヲ加
ヘテ參ラナケレバナラス、斯様ナ意味ニ於
テ三分半公債ヲ中心トスル考ヘ方ハゴザイ
マスガ、三分半ト云フ金利ニ直チニ數字ノ
上ニ於テ鞅押セラシテ行クト云フコトヲ直
接狙ツテヤツテ居ル譯デモナイデアリマス、
其ノ程度現在デハヤツテ居リマス

○松田(正)委員 大體分リマシタ、生産資
金、産業資金、色々危險モ冒サナケレバナ
ラス資金モアリマスノデ、一定ニハ行カナ
イ、ケレドモ金利ハヤハリ危險負擔ノ上カ
ラ當然ノ鞅ガ出テ來ルコトト思ヒマスガ、
公債消化ノ上カラ申シマス、遊動資金ハ
三分五厘以下位ニ下ルコトノ方針ニオヤリ
ニナルコトガ本筋ヂヤナイカト思ヒマス、
以上ヲ以テマシテ此ノ委員會設ケラレテ
以來、長キニ互ツテ委員長ノ方デハ私ノ問
ハントスル所ヲ十分ニ問ハシメ、政府ヲシ
テ答ヘントスル所ヲ十分ニ答ヘシメラレマ
シテ、大體ノ要領モ承ツタノデアリマス、
委員長ノ御勞苦ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シテ
一切ノ質問ハ是ヲ以テ打切りマス

○矢野委員長 他ノ委員諸君ハ御質疑ハア
リマセスカ——實ハ本日ヲ以テ此ノ委員會
ノ審議ヲ致シテ居リマスル各案ノ質疑ヲ終
了シテ、明日討論採決ヲ致シタイト存ジテ
居ルノデアリマスガ、御質問ガナケレバ私
ヨリ銀行局長ニ二三點御伺ヒ致シマス、ソ
レハ普通銀行ガ他ノ業務ヲ兼營スルコトニ
ナリマスノデ、地方ノ貯蓄專門ノ銀行ハ獨
立シテ行ケナクナリハシナイカ、若シ獨立
シテ行ケナクナルト致シマシテ、資金吸收
上現在御執リニナツテ居ル政策カラ、政府
ハ何等支障ヲ感ジナイカ、先ヅ其ノ點ヲ御
伺ヒ致シマス

○山際政府委員 御審議ヲ願ツテ居リマス
ル普通銀行等ノ業務兼營ニ關スル法律案實
施ノ結果ハ、地方ニ於ケル貯蓄銀行ヲシテ
其ノ營業ノ繼續ヲ困難ナラシメ、延イデハ
貯蓄増強上支障ヲ來サヤウナコトハナイカ
ト云フヤウ趣旨ノ御尋ネデアツタト存ズル
ノデアリマス、本法律案制定ノ趣旨ハ先程
モ申上ゲマシタ通り、今後益、其ノ必要ヲ加
重セラレテ參リマスル貯蓄ノ増強ハ、此ノ
金融機關ノ活動ニ依ツテ益、其ノ能率ヲ舉
ゲシメヨウト云フノガ其ノ趣旨デゴザイマ
ス、即チ既ニ御協賛ヲ願ツテ居リマス各種
ノ豫算案ニ於キマシテモ明カナルガ如ク、
戰爭遂行上政府資金ノ撤布其ノ他購買力ノ
放出セラレマスル金額ハ、十八年度又ソレ
ニ引續ク年度ニ於キマシテモ、恐ラクハ非
常ナ巨額ニ上ルト思フノデアリマス、而シ
テ此ノ戰時經濟ヲ健全ニ運營シテ參リマス
爲ニハ、此ノ非常ニ多額ニバラ撒カレマス
購買力ヲ丹念ニ拾ヒ集メテ行カネバナラス
ノデアリマス、隨ヒマシテコトデ專門ニ貯
蓄銀行ヲ營ミマスルモノト、兼業デ貯蓄銀
行業務ヲ營ミマスルモノトガ並立シタト致
シマシテモ、其ノ拾ハネバナラス所ノ相手
方デアル購買力ナルモノハ實ニ多額ニアル

ノデアリマスルカラ、其ノ結果專門ノ貯蓄銀行ノ方デ扱フ仕事ガ減ルデアラウト云フヤウナ虞ハ毛頭ナイト思フノデアリマス、寧ロ專門ノモノモ兼營ノモノモ總掛リデ拾ツテモ、尙ホ拾ヒ餘シガアリハセヌカト云フコトヲ懸念致シテ居ル位デアリマス、隨ヒマシテ此ノ法律案ノ施行セラレマスルコト自體ガ直チニ地方ノ貯蓄銀行ノ存立ヲ危クスルト云フ結果ニハ萬ナラヌモノト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯之ヲ局部的ニ見マスル場合、具體的ニ個々ノ地方ニ於キマシテ金融機關相互間ノ競争ガ熾烈ニナリ、其ノ結果或ハ專門ノ貯蓄銀行ノ方ガ、兼營デ新シク認メラレタ普通銀行ノ方ニ食込マレルト云フヤウナコトガアリハシナイカト云フ御懸念ハ洵ニ御尤モナ思フノデアリマスガ、此ノ法案ヲ實施致シマスル場合ニハ、能ク地方ノ事情ニ着眼ヲ致シマシテ、左様ナ懸念ガアリマセヌヤウニ、專門ノモノハ專門ノモノトシテ、其ノ機能ヲ發揮シ、兼營ノモノハ兼營ノモノトシテ相竝ンデ共ニ購買力ノ吸收ニ努力ガ出來ル體制ニ地方ノ整備ヲ致シタイ考ヘデアリマス

尙ホ將來ノ貯蓄銀行ノ營業繼續ノ問題トシテ考ヘネバナラス點ハ、寧ロ此ノ兼營法ニ依ル打擊ト云フヤウナコトヨリモ、其ノ運用致シマスル對象トナル資産ガ、益、公債投資ガ多クナル關係ニ於テ其ノ利鞘ガ非常ニ狭ク相成リマスル結果、却テ營業上窮屈ナコトニナリハセヌカト云フ懸念デアラウト思フノデアリマス、此ノ點ニ於キマシテハ從來ト雖モ貯蓄銀行ガ學ガテ居リマスル收益ハ、其ノ貯金ヲ非常ニ吸收致シテ居リマスル額ニ對シマシテ、比較的利益ハ少イノデアリマス、左様ナ儘デ置キマシタナ

ラバ、貯蓄銀行ガ今後益、發展ヲシテ行クト云フ體制ニ必ズシモ十分デハナイデアラウト云フ配慮カラ致シマシテ、寧ロ此ノ吸收致シマシタ資金ヲヨリ有利ニ運用スル途ヲ今少シク貯蓄銀行ノ方ニ認ムベキデハナカラウカト云フ考ヘ方カラ致シマシテ、此ノ法案ノ附則ニモゴザイマス通り、貯蓄銀行法ノ中デ資産運用ノ制限ヲ致シテ居リマスル規定ヲ、此ノ際適當ト認メラレル限度ニマデ擴張致シマシテ、少シデモ貯蓄銀行ヲシテ、其ノ機能ヲ發揮セシムル爲ノ力ヲ付ケテ行カウト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、更ニ又現在貯蓄銀行ノ吸收致シテ居ル資金ハ貯蓄銀行統制會ヲシテ其ノ運用ニ關スル指導ヲ致シマシテ居ルノデアリマスルガ、其ノ際ニ於キマシテモ國債消化ノ割合ト、國債ヨリモ比較的利廻リノ宜シイ社債類ノ消化ノ割合、是等ノ比率ヲ將來ハ相當加減勘案ヲ致シマシテ、貯蓄銀行ニ出來ルダケ力ヲ付ケマシテ、サウシテ專門ノ貯蓄銀行ガ益、其ノ機能ヲ發揮出來マサウナ配慮モ併セテ行ヒタイト思フノデアリマス、要スルニ左様ナ内容方面ニ互リマスル配慮ト、本法實施ノ際ニ於キマス局部的ナ摩擦ヲ極力排除スルヤウ考慮ヲ廻ラスコトニ依リマシテ、本法案實施ノ結果ハ圓滑ニ其ノ所期ノ目的ヲ達成シ得ルモノト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○矢野委員長 ソレデハ附則ノ方デ、吸收シタ資金ヲ運用スル場合ニ、從來公債ヲ幾ラ持タナクテハナラヌト言ツテ居リマスル制限ヲ緩和スル、斯ウ云フ御規定デゴザイマスカ

○山際政府委員 附則デ改正ヲ御願ヒ致シテ居リマスルノハ「十二條貯蓄銀行法中左ノ通り改正ス」ト云フ所デゴザイマス、其ノ内容ト致シテ居リマスルノハ二點ゴザイマシテ、第一點ハ、道府縣市町村ニ對スル貸付ハ一年內ノ期限ノモノデナクテハナラヌト云フノガ現行法ノ規定デゴザイマス、ソレデハ窮屈デアリマスノデ、之ヲ五年以內マデハ貸シテ宜シイト云フコトニ運用ノ範圍ヲ廣メテ、是デ貯蓄銀行ガ公共團體ニ貸付ヲスル能力ヲ擴充シテ居ルノデゴザイマス

ソレカラ其ノ次ハ、現行法ニ依リマス、貯蓄銀行ガ買フコトガ出來マスル手形ハ、銀行又ハ信託會社ノ引受手形ニ限ルト云フ規定ニナツテ居リマス、此ノ規定ハ引受手形デナケレバ買ヘナイト云フコトデアリマスカラ、稍、窮屈デアアル、隨テ此ノ規定ヲ改メテ銀行又ハ信託會社ノ引受手形以外ノモノデアリマシテモ、主務大臣ノ認可ヲ受ケマシタモノニ於キマシテハ、ソレヲ買受ケテ宜シイト云フコトニ致シマシテ、貯蓄銀行ノ買フニ相應ハシイ堅實ナ手形デアアルナラバ、假令銀行、信託會社ノ引受手形デナクテモ之ヲ買受ガ出來ルト云フ途ヲ開イタノデアリマス

尙ホソレニ關聯スル條項トシテ更ニ一點改正ヲ致シテ居リマスノハ、貯蓄銀行法ノ第十三條ノ一項ニ但書ヲ加ヘル案ニナツテ居リマス、現行法ノ第十三條ノ一項ト申シマス、貯蓄銀行ガ一人ニ對シテ貸付金ヲナシ得ル限度ガ制限サレテ居ルノデアリマス、即チ其ノ額ハ拂込資本金及ビ準備金ノ十分ノ一ヲ超エテハ相成ラヌト云フコトニナツテ居リマス、併シナガ是モ現在ノ狀況ニ鑑ミマスルト、稍、窮屈ニ過ギマスノデ、但書ヲ加ヘテ「但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ」トシ、適當ナモノデアアルナラバ、尙ホ此ノ制限ヲ超エテ貸シテ宜シイト云フ途ヲ設ケタノデアリマス

○矢野委員長 ソレデハ手形ノ買取ニ付テ主務大臣ノ認可ヲ受ケレバ、銀行又ハ信託會社ノ引受ノナイモノデモ買取ガ出來ルコトニナリマスカ

○山際政府委員 左様デアリマス

○矢野委員長 其ノ主務大臣ガ買ツテモ宜イト云フ手形ハ、大體標準デモ示スノデアリマセウカ

○山際政府委員 現在考ヘテ居ル代表的ナ手形トシテハ、軍ノ保證手形ヲ考ヘテ居リマス、是ハ先般法律ガ出マシテ、軍ニ於テ其ノ支拂ヲ保證致スコトガ出來ル手形ノ制度ガ開カレマシタ、勿論左様ナ手形ハ此ノ貯蓄銀行ガ投資致シマシテモ、何等懸念スベキモノデアリマセヌカラ、當然左様ナモノハ買入レテ宜シイトニ致シタイト考ヘテ居リマス、其ノ他ノモノニ付キマシテハ、マダ具體的ニハ考ヘテ居リマセヌガ、同ジヤウニ所有致シテ何等懸念ノナイモノニ此ノ規定ヲ運用致シタイ考ヘデアリマス

ソレカラ尙ホ御尋ネノ國債ノ割當率ニ付テノ點デゴザイマスガ、是ハ法律ノ規定ニハゴザイマセヌ、金融統制團體ニ關スル勅令ニ依リマシテ、貯蓄銀行統制令ガ貯蓄銀行ノ資金ノ運用ニ對シテ、國債ノ例ハ増加資金ノ何割保有セヨト云フ指圖ガ出來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、十七年度ノ實際ニ於キマシテハ、増加資金ノ七割五分ハ國債ニ投資スルト云フヤウニ指導ヲ致サセタノデアリマスガ、是ハ貯蓄銀行ノ力ヲ付ケマス上カラ申シマシテ、今少シク此ノ

七割五分ニ相當スル所ヲ他ノ證券トノ比較ニ於テ減少致シマシテ、其ノ代リ政府保證ノ社債ノ如キ稍利廻リガ良ク、而モ確實ナモノニ振替ヘサセテ方宜シイノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマシテ、十八年度指導ノ方針ト致シマシテハ左様ナコトヲ加味シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○矢野委員長 次ニ是ハ大分將來ノコトニナルカトモ存ジマスガ、戰爭終了後ハ事業界ハ如何ニ統制經濟デモ相當變化ヲ豫想セネバナラスト存ジテ居リマスガ、其ノ時ニ至ツテ所謂兼營銀行ニ於ケル貯蓄銀行業務ハ破綻ノ虞ハナカラウカ、之ニ對スル豫防的對策トシテ何カ只今ニ於テ用意ガアルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス

○山際政府委員 御尋ネノ趣旨ハ洵ニ御尤モノコトニ存ジマス、前回ノ歐洲戰爭其ノ他ノ戰後ニ於ケル經驗ニ徴シマシテモ、是等ノ點ハ十分考慮ヲ致サネバナラスト點デアラウト思フノデアリマス、唯御承知ノ如ク現在ノ經濟ノ體制、又其ノ仕組カラ申シマスト、從來戰後ニ於テ屢、現ハレタルガ如キ所謂景氣ノ反動ト云フヤウナ現象ハ相當將來ハ違フモノト考ヘテ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、而モ左様ナ景氣ノ反動ト云フヤウナ、從來ノ經濟組織ニ現ハレタ如キモノハ必ズシモ豫想シナクテモ宜イノデハナイカト思ハレルノミナラズ、現在ノ重要産業ノ政府ノ仕事ノ進メ方ハ從來ノ經驗ヲ十分考慮致シマシテ、所謂景氣ノ反動ニ於テ其ノ事業ガ破綻ヲ致シ、其ノ破綻ガ延イテ金融機關ニ累ヲ及ボスト云フヤウナコトノ萬アリマセヌヤウニ、企業自體ニ對スル或ハ損失補償トカ、或ハ政府ノ資

本ノ投下デアルトカ、其ノ他政府ノ管理ニ屬セシメテ置クトカ、或ハ又金融機關自體ニ對シマシテモ、其ノ資金ノ内容ニ付テ政府ガ損失ノ補償ヲスルトカ、各般ノ危險防止ノ方法ヲ講ジテ、此ノ時局下必要ナル各種ノ施策ヲ進メテ居ルノデアリマスカラ、所謂從來アリマシタヤウナ反動景氣ニ依ツテ金融機關ガ破綻ヲ生ズルト云フ事態ハ先ヅ此ノ際トシテ懸念ナキモノト思フノデアリマス、加之是モ前回申上ゲマシタガ、大東亞戰爭勃發ノ當初、直チニ大藏省ハ非常金融對策ヲ發表、實施致シテ、今日ハ國民ガ政府ノ指導ノ下ニ貯蓄ノ増進ニ邁進致シテ居リマス、國際デアリマスカラシテ、國民ガ貯金致シマシタルモノハ如何ナル事態ガアリマシテモ、必ズソレハ再び國民ノ手ニ返スト云フコトヲ政府ノ責任ニ於テ實行スル政策ヲ執ル、又之ニ必要ナル法制上ノ手續ヲ既ニ確立シテ現在ソレヲ進メツツアルノデアリマス、申スマデモナク斯様ナ制度ノ下ニ於テ益、國民貯蓄ノ増進ヲ圖リタイ所存ナノデアリマス、一面又今申上ゲマシタ通り、金融機關ノ内容等ハ今日ノ事態ニ於テ聊カモ懸念スベキ、狀態デハナイノデアリマス、此ノ金融機關ノ堅實ナル内容ト是等ニ加フルニ政府ガ今申上ゲマシタ預金者等ニ對スル十全ノ保護、此ノ兩々相俟ツテ進メテ居リマスカラシテ、將來或ル事態ノ勃發ノ爲ニ金融機關ガ影響ヲ被ル、其ノ結果預金者ガ迷惑ヲ被ルト云フヤウナ事態ハ先ヅ此ノ際ハナイモノト確信シテ宜シイノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○矢野委員長 一言ニシテ御答ヘテ要約スルト、戰後ニ於ケル反動ノ豫防的用意トシテ現在ノ金融政策並ニ經濟體制、其ノ他政府ノ行ツテ居ル色々ナ政策ハソレニ合致ヲ致シテ居ル、斯様ニ承知シテ宜シイノデゴザイマス

○山際政府委員 或ハ伺ヒ方ガ惡カウタカモ知レマセヌガ、將來從來アリマシタ如キ事態ト云フモノハ先ヅ起ラスト思ヒマス、シ、假ニ左様ナ兆候ガ部分的ニ現ハレマシテモ、之ニ十分堪ヘルダケノ保護ハ豫メ考ヘテ進メテ居リマスカラ、御懸念ノヤウナ事態ハ先ヅナカラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○矢野委員長 次ニ信託業務中金錢信託以外ノ、例ヘバ土地ノ管理等ノ如キ業務ハ、現在ノ專門ノ信託會社デヤラス方ガ能率的デアルト私ハ思ツテ居リマスガ、店舗ノ數等ノ爲ニ普通銀行ニ兼營サセルノデアリマスカ、此ノ點ヲ御伺ヒシマス

○山際政府委員 普通銀行等ニ兼營ヲ認メマスル信託業務ノ中デ、最モ普通銀行ノヤツテ居リマスル仕事ニ近ク、直グ間ニ合フト思ハレマスノハ金錢信託デアリマス、其ノ他ノ信託ニ於キマシテモ、大體國民ノ財產ヲ管理スルト云フ點ニ於テハ金融機關ノ扱ヒマスル仕事トシテ相應シイトハ考ヘマスルガ、多少ヅツ專門的ナ知識經驗ヲ必要トスル事項ガアリマスルコトハ御指摘ノ通りデアルト考ヘマス、金錢信託以外ノ信託ニ關シマシテハ、直チニ金錢信託ニ於ケルガ如ク容易ニ進メ得ナイ點モアラウト思ヒマスガ、全體ト致シマシテ、茲ニ信託業務ノ兼營ヲ認メマスル趣旨ハ單ニ金錢信託バカリデナク、各種ノ財產管理ニ關スル信託モ併セテ益、國民ヲシテ其ノ利用シ得ル機關ヲ殖ヤシタイ考ヘカラナノデゴザイマス、是ハ專門ノ機關デコナシ得マスコトハ

勿論、又ソレガ效果ガ多イコトモアリマスルガ、同時ニ又兼營ヲ認メマシテモ、現在信託會社ガヤツテ居リマスル程度ノ業務ハコナシ得ル能力ハ備ハツテ居ルト思フノデアリマス、勿論段々申上ゲマスル通り、專門ノ技術經驗ガ多少必要ナ部面モアリマスカラ、今直チニ兼營ヲ認可致シマシテ、全面的ニ信託會社ト同ジコトガ兼營業務ニ於テ營業ルト云フコトニモ申上ゲ兼ネマスケレドモ、現在ノ普通銀行等ノ能力、又其ノ資産ノ内容、店舗ノ設備等ヲ考ヘ合ハセマスルナラバ、漸次金錢信託以外ノ信託ニ付キマシテモ、國民ニ便宜ヲ與ヘ、十分ナル發達ヲナシ得ル可能性ガアルト思フノデアリマス、而シテ此ノ際ニ於テ此ノ兼營ヲ實行致シマスル趣旨ノ重要ナル理由ノ一ツハ只今御指摘ノ如ク、此ノ時局ニ於テ金錢信託ト云ハズ、各種ノ信託業務ヲ益、擴張スル必要ガアルニ拘ラズ、各種ノ人的、物的ノ制限ノ爲ニ專門信託會社ノ店舗ヲ全國的ニ擴張スルト云フコトハ中々困難ナ事情ニアル、ソコデ其ノ能力、又其ノ店舗ノ數等ニ於キマシテ、最モ餘裕ニ富シテ居ル普通銀行等ヲシテ此ノ兼營ヲ認メマシタナラバ、專門信託會社ノ店舗ト相並ンデ、能ク國民ノ信託ニ對スル要求ヲ滿タシテ行ケルノデハナイカ、斯様ナ考ヘ方カラ此ノ法案ヲ立案致シテ居ルノデアリマス

○矢野委員長 サウスルト國民ノ財產管理ノ事務ハ殖エテ來ル、ソレデ人的及ビ物的ニ相當從來カラ類似シテ居ル機關ヲ普通銀行デ持ツテ居ルカラシテ、ソレニ兼營サセルト云フ風ニ承知シテ宜シイノデアリマスカ

○山際政府委員 御説ノ通りデアリマス

○矢野委員長 次ニ法文ノ解釋ヲ二三點伺
ツテ置キマス、ソレハ第二條ニ兼營銀行ノ
吸收シタ資金ノ運用ノ規定ガアリマス、是
ハ同ジヤウナコトヲヤハリ貯蓄銀行モヤツ
テ居ルト存ジテ居リマスガ、左様ニ心得テ
宜シカ、ソレカラ第二條ノ末項ノ方デ貯
蓄銀行法第十條ノ規定ヲ兼營銀行ニ準用シ
テ居ル、ソレカラ第三條、第四條ソレヲ簡
單デ宜シウゴザイマスガ、御説明ヲ願ヒマ
ス

○山際政府委員 大體ノ要領ヲ御説明申上
ゲマス、第二條ニ規定致シテ居リマスルノ
ハ、貯蓄銀行法ニ規定致シテ居リマスル所
ト全ク同様デゴザイマス、即チ貯蓄銀行法
ニ於キマシテハ貯蓄銀行ニ資金ヲ預入レテ
居リマスモノヲ保護致シマスル爲ニ、其ノ
預入金額總額ノ三分ノ一以上ニ相當シマス
ル國債ノ供託ヲ貯蓄銀行ニ命ジテ居ルノデ
アリマス、同様ノ規定ヲ此ノ兼營ノ場合ニ
於キマシテモ、其ノ兼營銀行ガ受入レマス
ル、貯蓄預金ニ付キマシテハ適用スルコト
ガ妥當デアルト考ヘマスルノデ、ヤハリ貯
蓄銀行専門ノ場合ト同様ニ其ノ貯蓄預金總
額ノ三分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ
供託スルコトニ規定致シタノデアリマス、
ソレカラ其ノ末項ニアリマスル「貯蓄銀行法
第十條ノ規定ニ三々トアリマスノハ、是ハ貯
蓄銀行法第十條ニ於キマシテ、只今申上ゲ
マシタ預金者ノ爲ニ供託致シマシタ國債ニ
對シテ、貯蓄銀行ノ預金者ハ先取特權ヲ持
ツテ居リマス、是モヤハリ兼營ノ場合ヲ全
ク同様ニ取扱ヒマシテ、其ノ兼營銀行ガ供
託致シマシタ國債等ノ上ニ先取特權ヲ認メ
タ次第デアリマス、第三條ノ「有價證券割賦
販賣業法第八條乃至第十一條」ト申シマスル

ノハ、是ハ有價證券割賦販賣業者ガ其ノ業
務ヲ行ヒマスル場合ニ締結ヲ致シマスル契
約ノ内容ヲ法定致シテ居ル規定デゴザイマ
ス、例ヘテ申上ゲマスルナラバ、第八條ニ
於キマシテハ「有價證券割賦販賣業者ハ買入
契約者ガ賦拂金拂込ノ義務ヲ履行セサルト
キハ其ノ都度遲滞ナク相當ノ期間ヲ定メテ
履行ノ催告ヲ爲スヘシ」斯様ナ趣旨ノ規定ヲ
第八條デ規定致シテ居リマス、ソレカラ第
九條ハ、其ノ催告ヲナシタルニ拘ラズ買入
契約者ガ賦拂金ノ拂込ヲ怠ツタヤウナ場合
ニ於キマシテハ、一時ニ未拂込ノ賦拂金ノ
拂込ノ請求ガ出來ル、而シテ左様ナ拂込ヲ
請求シタ場合ニハ、同時ニ約束ノ有價證券
ノ引渡シヲヤラナケレバナラスト云フ趣旨
ノ規定ガ此ノ九條ニゴザイマス、第十條ニ
於キマシテハ、契約ヲ解除シタ場合ニ於テ
ハ各當事者ハオ互ニ相手方ヲ直チニ原狀ニ
回復セシメル義務ガアルト云フ規定ガアル
ノデアリマシテ、第十一條ト致シマシテ「前
三條ノ規定ニ反スル契約ハ無効トス」ト云フ
規定ガゴザイマスノデ、結局有價證券割賦
販賣業者ガ致シマスル契約ノ内容ヲ法定致
シテ居ルノデアリマシテ、是ハ現在ノ貯蓄
銀行ニ於キマシテハ、有價證券割賦販賣ノ
業務モ出來マス、其ノ場合ニ同ジク此ノ規
定ノ適用ヲ受ケテ居リマスカラ、兼營ノ場
合ニ於テモ同ジク之ヲ適用スル考ヘナノデ
アリマス、ソレカラ第四條ノ信託業法第七
條乃至第十條ノ規定ノ準用デアリマスガ、
是ハ普通銀行等ニ信託業ヲ兼營致サセマシ
タ場合ニ、信託ノ受益者ニ對シマシテ其ノ利
益ヲ保護スル爲ニ供託ノ義務ヲ命ジテ居ル
ノデアリマス、即チ第七條ヲ讀ミマス「信託
會社ハ信託義務ノ違反ニ因リテ受益者ニ生

スルコトアルヘキ損害ノ擔保トシテ命令ノ
定ムル所ニ依リ資本金ノ十分ノ一以上ノ金
額ニ相當スル國債ヲ供託スヘシ但シ其ノ金
額ハ百万圓ヲ超ユルコトヲ要セス」、資本金
ノ十分ノ一以上ノ國債ヲ供託スル必要ガア
ルト云フ規定ガアリマスノデ、ヤハリ兼營
ノ場合ニ於テモ此ノ規定ヲ適用スルノガ權
衡上宜シイト考ヘタ次第デアリマス、次ニ
第八條ハ其ノ供託サレマシタ國債ニ付キマ
シテハ、信託會社ノ受益者ハ先取特權ノ規
定ガアリマスノデ、ソレヲヤハリ此ノ場合
準用スルノデアリマス、ソレカラ次ノ第九
條ノ準用ハ「信託會社ハ命令ノ定ムル所ニ
依リ運用方法ノ特定セサル金錢信託ニ限リ
元本ニ損失ヲ來シタル場合又ハ豫メ一定シ
タル額ノ利益ヲ得サリシ場合ニ於テ之ヲ補
填シ又ハ補足スル契約ヲ爲スコトヲ得」、即
チ受益者ニ對シマシテ運用方法ヲ全部任サ
レタ場合ニ於テハ、或ル程度ノ元本補填、利
益補給ノ契約ヲナスコトガ出來ルト云フノ
ガ現行法ノ規定デアリマスガ、普通銀行等
ガ兼營致ス場合ニ於テモ同様ノ措置ヲ認メ
ルコトニ致シタノデアリマス、最後ニ第十
條ノ規定ハ、信託財産トシテ預カリマシタ
モノヲ自分ノ財産——固有財産ニ振替ヘル
コトガ原則トシテ出來ナイコトニナツテ居
ルノデアリマス、但シ信託會社ニ於テハ金
錢信託ニ付キマシテハ、受益者ニ對シテ負
擔シテ居リマス債務ヲ履行スル爲ニ信託財
産ヲ固有財産ニ移ス必要ヲ生ズル場合ガア
ルノデアリマス、即チ信託ガ滿期ニナリマ
シテ、金ヲ拂戻スヤウナ場合ニ於テ、ソレ
ヲ有價證券ニ運用シテ居ツタ、而シテ其ノ
有價證券ハ取引所ニ上場サレテ居ツテ、公
定ノ相場ガ決ツテ居ルトヤウナ場合ニハ、

何モ此ノ信託財産ヲ固有財産ニ移シテハナ
ラスト云フ原則ヲ貫ク必要モナイノデ、唯
一ツノ例外ト致シマシテ取引所ノ相場アル
財産ニ關シマシテハ、信託財産ト雖モ固有
財産トシテ宜シイト云フノガ現行法ノ規定
ニナツテ居リマスノデ、ヤハリ之ヲ兼營ノ
場合ニ準用スルノガ便利デアルト考ヘマシ
テ左様ナ規定ニ致シタノデアリマス

○矢野委員長 了承致シマシタ、國民貯蓄
局長ニ一、二點御伺ヒ致シマス、ソレハ先
般、南君デアリマシタカ、松田君デアリマ
シタカ、今一寸忘レマシタガ、第十條ノ四
ノ證券、所謂貯蓄證券デスガ、ソレニ付テ
其ノ内容ハドウ云フモノカト云フコトヲ尋
ネラレマシテ、ソレニ對シテ政府ノ方カ
ラノ答辯ハ、現在國債其ノ他ノ債券等ハ技術
上其ノ額面金額ハ限定セラレ、餘リ小額ノ
モノハ之ヲ發行シ難イト云フヤウニ申サレ
テ居ルノデアリマスガ、サウ致シマスト此
ノ貯蓄證券ハ非常ニ小額ノモノヲ御出シニ
ナルヤウニ聞エルノデアリマスガ、只今デ
モ相當小額ノ證券ガ出テ居ルヤウニ存ジマ
スガ、其ノ金額ハドウ云フ程度ノモノヲ御
出シニナルノデアリマスカ

○氏家政府委員 貯蓄證券ハ成ベク小額ノ
モノガ澤山アルコトガ利用ノ上デハ便利デ
アリマス、但シ印刷ノ都合ナドモアリマス
ノデ色々考慮中デアリマシテ、マダハツキ
リトハ決ツテ居ラナイノデアリマスケレド
モ、一圓以下ノモノ、五十錢位ノモノモ必
要デアアル、印刷ノ都合サヘ付ケバ二十五錢
位ノモノヲ出シテ見タイ、斯様ニ考ヘテ居
ルノデアリマス

○矢野委員長 其ノ御答辯中ニ相當用途モ
廣イモノト考ヘルト云フコトガアルノデア

リマスガ、只今ノ御説明デハ二十五錢ト云ツタヤウナモノモ出スト言ハレルト、サウ云フ所カラ用途ガ廣イト言ハレテ居ルノデスカ

○氏家政府委員 左様デゴザイマス

○矢野委員長 ソレカラモウ一點御尋ネ致シテ置キタイノハ、國債預金トデモ申シマスカ、サウ云フ新シイ預金ヲ作ラレルト聞

イテ居ルノデアリマスガ、ソレハ引出ス場合ニハ現金ハ貰ヘナイデ、國債、公債ト云フモノヲ受取ルコトニナリマスカ

○氏家政府委員 御話ノヤウニ其ノ預金ハ引出ス場合ニ於テハ國債ヲ以テ渡ス、但シ端數ナド適當ナ國債ガナイ場合ニ於テハ、已ムヲ得ズ現金ヲ渡ス場合モ有リ得ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○矢野委員長 ソレカラ現在勸業銀行デ發行シテ居ル國債、貯蓄債券ノ發行高ハドレ位ニナツテ居リマスカ、ソレカラ比較的多額ノ割増金附ノ證券ヲ御出シニナルト、貯蓄債券トカ國債債券ノ賣行キニ影響シヤシナイカ、サウ云フヤウニ考ヘマスガ、其ノ點政府ノ見透シハ如何デスカ

○氏家政府委員 貯蓄債券、國債債券ノ發行高ハ十七年ノ十二月マデノコトヲ申上ゲテ置キマス、額面金額デ申上ゲマスガ、貯蓄債券ハ十六億二千萬圓餘リ、國債債券ハ額面ト賣出シ價格ガ一緒デ五億六千萬圓餘リ、特別國債債券、所謂豆債券ト稱スルモノガ六千三百萬圓、合計二十二億四千萬圓程ニナツテ居リマス

○矢野委員長 彈丸切手ト云フモノハ……
○氏家政府委員 ソレハ又別ニナツテ居リマス

○矢野委員長 ソレハドウ云フ法律ニ依ツ

テ發行サレテ居リマスカ

○氏家政府委員 逓信省ノ郵便貯金ノ方ノ關係デ、郵便貯金法ニ基イテ發行シテ居リマス

○矢野委員長 何カ證券デスカ

○氏家政府委員 左様デゴザイマス

○矢野委員長 其ノ發行額ハ……
○氏家政府委員 ソレハ只今取調ベテ申上ゲマス、其ノ前ニ割増金ヲ増額シテ特別ナ債券ヲ出スト現在ノ貯蓄債券ヤ報國債券ノ賣行キニ影響スルコトハナイカ、斯様ナ御尋ネガアリマシタガ、實ハ貯蓄債券ハ一番早クカラ發行サレテ、其ノア

トデソレヨリモ割増金ノ多イ報國債券ヲ發行スルコトニ致シマシタガ、アノ當時ニ於テモサウ云フコトガ心配サレテ居ツタノデアリマス、併シ割増金ガ多ケレバ多イダケニ、ソコニ又他ノ方面ニ不利ナ方面モゴザイマスルカラ、其ノ邊ヲ巧ク調節シマスレバ、現在ノ貯蓄債券ヤ報國債券ニ大

シタ影響ナク、新ナル購買力吸收ノ役ニ立ツヤウナ債券ノ發行ガ可能デアルト考ヘテ居リマス、尙ホ彈丸切手ハ本年度カラ發行シテ居リマシテ、十二月マデデ九千七百萬圓ニ上ツテ居リマス

○矢野委員長 了承致シマシタ、ソレカラ相馬局長ニ一寸御尋ネ致シマスガ、戰爭保險臨時措置法ノ保險ノ目的ノ物件ニハ、別段制限ハナイノデスカ、船舶ノヤウナモノモ宜イノデスカ

○相馬政府委員 戰爭保險臨時措置法ノ施行規則第一條ニ依リマシテ、船舶ハ保險ノ目的ニナツテ居リマスガ、制限ガアリマス

○矢野委員長 ドウ云フ制限ガアリマスカ、普通ノ家屋、家財、或ハ船舶ナドハ皆保險

ノ目的ニナレルノデスカ

○相馬政府委員 大體サウナツテ居リマスケレドモ、同法施行規則第二條ニ依リマシテ通貨、有價證券、切手、印紙、金屬、寶石、書畫骨董、美術品、其ノ他證書トカ、帳簿、之ニ準ズルモノ、又動植物トカ、船舶ニ付キマシテハ、損害保險國營再保險ノ再保險ノ元受保險ノ目的タルコトヲ得ル船

斯ウ云フモノハ保險ノ目的ニナルコトガ出來ナイト云フコトニ決メラレテ居リマス
○矢野委員長 モウ一ツ伺ヒマス、鹽田ノ面積ハ内地ノ方デ擴張スル御計畫ガアリマスカ

○木内政府委員 鹽田ノ面積ハ御承知ノヤウニ、之ニ依リマシテ非常ニ鹽ノ生産力ニ影響致シマスノデ、先般來申上ゲテ居リマスヤウニ、政府ト致シマシテハ内地ニ於ケル鹽ノ生産力ヲ出來ルダケ増強シテ參リタ

イト云フコトヲ考ヘテ居リマスノデ、或ハ豫算上、或ハ行政上、其ノ他各般ノ措置ヲ講ジマシテ、出來ルダケ新規鹽田ノ築造廢止鹽田ノ復活、斯ウ云フヤウナコトヲ促進致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○矢野委員長 大體質疑ハ終了致シタコトニ致シタイト存ジマスガ、如何デスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○矢野委員長 ソレデハ各案トモ大體質疑ヲ終了致シタコトニ致シマシテ、明日午後一時カラ會議ヲ開イテ討論ヲ致シ、採決ヲシタイト存ジテ居リマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時四十分散會

昭和十八年二月二十四日印刷

昭和十八年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局